京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 一ヶ月 金六十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]
發行所 合資會社 京城日報社 電話 [illegible]

▲市場零聞 ▲前場の商戰 [illegible]

▲大阪の高原因 [illegible]

京城正米 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

仁川米豆取引 [illegible]

平均値段

一節	八圓七十錢
二節	八圓七十二錢
三節	八圓七十一錢
四節	八圓七十一錢
五節	八圓七十一錢

期米 前日比較

寄附	八、五八	一二高
止め	八、六〇	一〇高
高値	八、六一	一三高
安値	八、五八	一一高

金剛山遊記 蘇峰生（日遊草記）

六、繪も詩も企及ばず
石と水と樹＝擔軍の落伍＝紅葉は尙早＝耶馬溪を晒ふ＝玉龍洞の勝景＝二里餘の山徑を三時間

そこで、折角伸び來り、兵糧を擔がせたる擔軍君も、金剛門前の溪流に辟易して進み得ず、辛うじて擔軍を下ろし、荷物を一箇宛腰にして幾回と無く往復したさうである。

石と水との他は木である。石の山にも、樹は生うるものである。苛松が有る。赤松が有る。五葉松が有る。特に、見る可きものは槭樹である。楢、柏、櫟、樅、檜、樺等の雜木もある。有態に言へば、外金剛の紅葉は、吾等が見たところでは、今兩三日早かつたのである。

しかしながら、見上ぐる斷崖絕壁の上に、一株二株の燃えんと欲する紅葉を見、傍には、銀河九天より落つるが如き飛瀑を見、脚下には、蛟龍の棲かと思はるゝ、底をも知れぬ深潭を眺め、頭上には、四周の奇巖怪峰にて輪廓を取られたる靑空を見、その天然の彩色の配合、詩にも繪にも、到底盡せぬのである。今更、賴山陽などの文藻が、その全力を耶馬溪如き規模偏少なる山水に盡し去つたのは、如何にも口惜しき次第である。兎も角も、吾等は是非九龍淵まで行く可き豫定であつたから、遠慮會釋無く突進したのである。途中にて、端なく、鮎貝槐園君の一行に出會した。君は、吾等より二日前に京城を出で、本日は溫井里より早朝出かけ、今、九龍淵を見て歸るところであつた。前路を問へば、是れからが、愈よ、嶮岨であると答へた。

予が見るところでは、外金剛の絕景は玉龍洞であらう。玉龍洞は、左右石壁環列し、前に飛瀑天外より懸り、溪流が山に壓搾せられて轉回するところであつて、その轉回する溪中に、數百人を座せしむるに足る大石が轉がつて居る。こゝから道は一層峻險となる。しかし、或は棧道を設け、或は大石に踏み跡を刻みつけ、或は松の丸太を鐵線にて縛し、其の丸太に切り段をつけ、此を階子の如くして、大石の側面に立てかけ、之を便りに上下し、兎も角も、大なる危險なくして行かるゝやうになつて居る。但、雨後であつて、折角の道普請が往々壞れて居たのは致し方もなかつた。

斯くて斷崖を過ぎ溪流を渉つて行けば、その盡くるところが、則ち、玉流溪の起點であつて、そこに落つる瀧壺が九龍淵である。これは、高さ一百七十餘尺で、凄じき水勢を以て落下して居る。予等はこゝにて、豫て用意し來れる行厨を開かんとしたれども、擔軍落伍のために果さず、その此處に達したるは三時半にして、神溪寺より此處まで一里半、溫井里より神溪寺まで二十町とすれば、雜と二里餘であるが、二里餘の道を約三時間にて到著したのである。

金剛山スケッチ（六） 前川千帆

◎獨軍損害莫大 露軍の捷利

露都來公報に依れば露軍は引續き成功を收め全線の各地に於て數箇所の村落を占領し俘虜三千三百名及び多數の機關砲を得たり又たヴヰルナの東方デムメン湖及びドリスウキアチ湖間に於て最も猛烈なる戰鬪行はれ獨軍は莫大なる損害を蒙りてドリスウキアチー湖南岸より驅逐されたり（倫敦電報）

◎ガリポリ減兵說無稽 却つて增員

デーリーニユース紙在雅典通信員は、ダーダネルス攻擊軍が其の兵力を減じ其の軍事行動益々緩漫なるを報じたるが高級軍事當局者は之れを以て無稽の報道に過ぎずとなしガリポリ半島の聯合軍は却て增員せられつゝありといへり（倫敦電報）

◎對支廟議決定 樞密院側と一致

支那帝政問題に對し帝國政府は愼重熟慮の上既に廟議決定し居れる模樣なるが樞密院側に於ても此れに甚大の注意を拂ひ御諮詢官の如きは再度大隈首相と意見を交換したる程なるが要するに（一）帝政に伴ふ國際的日本の利害得失如何（二）政體變更に伴ふ支那の安寧如何（三）歐洲列國の態度の三點に就き研究しつゝあるもの如し而して共和以來未だ期年ならずして善く其の禍否を斷定し得るや否や明かならざる一種のクーデターを行ひ以て專制君主政を斷行せんとするは支那の治安に大關係あるものと認め延いて日本帝國の被むる可き波動を顧慮し現政府と所見全く一致し居れりと（東京特電）

◎臺灣民政長官更迭

二十日左の如く臺灣民政長官更迭發表ありたり（東京特電）

爲替貯金管理局長兼遞信書記官正五位勳三等 下村宏
任臺灣民政長官（高等官一等）
臺灣民政長官 內田嘉吉
依願免本官

◎大本營に御統監

大元帥陛下には二十日は雨天に因り御野立所に行幸御見合せ大本營に於て大演習御統監遊ばさるゝことに御治定相成りたり（東京特電）

◎首相の政友招待

大隈首相は二十日午後零時半より官邸に政友會幹部を招待し武富、加藤兩大臣も出席し午餐後別室に於て內治外交に關し懇談を交へ二時過ぎ散會せり當日は原、元田、岡崎の最高幹部は事故の爲め不參し床次、小川其の他の役員出席したるのみ（東京特電）

◎支那來賓動靜

朝鮮訪問支那大官一行二十日午後四時十分臨時列車にて安東縣に到著したるが張作霖氏一行は入浴を終へ八時三十分奉天へ、農商部次長金邦平氏一行四名は當地に宿泊二十一日採木公司、貯木所、鴨綠江製材公司其他を視察し同夜採木公司の歡迎會に列し二十二日朝北行すべし（安東縣特電）

◎中部鐵道觀光團

中部鐵道管理局主催滿鮮觀光團三百四名二十一日午後安東驛著新義州、安東縣を視察し午後八時三十分夜行にて奉天へ向へり（安東縣特電）

◎御眞影奉戴

咸鏡北道廳及び淸津府廳に下賜の御眞影廿日到著し官民奉迎せり廿一日奉戴式を行ふ（淸津特電）

◎故市原總裁遺骨著京

市原元朝鮮銀行總裁遺骨は二十日午後八時三十分東京驛著列車にて著京直ちに四谷の自邸に入れり（東京特電）

◎比島總督夫人

北律賓總督ハリソン夫人二十一日朝關門を通過して東京へ向へり（門司特電）

◎野田東拓副總裁

野田東拓副總裁廿一日午前關釜連絡船にて上陸直に福岡へ向へり（門司特電）

◎德富上院議員

德富貴族院議員二十一日午前關釜連絡船より上陸同九時五十分下關發歸京す（門司特電）

雜報

◎朝鮮輕鐵進捗

歐洲の大亂に次いで日獨開戰の爲め已むなく一時創立を中止したる朝鮮輕便鐵道株式會社は其後追々經濟界の順調に向はむとする好機に際し愈々創立著手の運となり其實行上一切の事務を委員長牟田口元學氏に一任し尙佐藤潤象安藤保太郞の兩氏を常務委員に擧げ創立事務所は兩三日中に活動を開始し發起人諸氏の各方面に於ける盡力の結果今は著々有力なる贊成者の數を加へ東京方面のみに於て既に一萬株以上の引受を見るに至れる由なり贊成側の重なる顔觸には澁澤大倉氏等を始め甲州方面にては若尾一家名古屋方面にては神野上遠野高橋等の諸氏大阪方面にては土居(島德)、今西、藤本諸氏等あり九州筋にては福岡の太田淸藏、中野寅氏等新たに發起人に加はり殊に中野氏は創立委員の一人として昨今福岡を中心に熱心盡力しつゝあり牟田口委員長、佐藤常務兩氏は不日渡鮮して會社設立に關する要件を進行すべく目下其準備を急ぎつゝあり

◎李王御參拜

李王殿下は二十二日午前九時昌德宮御出門洪陵に參拜後月谷里に赴かれ歸途德壽宮御訪問ある由

◎「大汗」と王爵 帝政後の處置＝將來大亂の豫想

政府部內の消息に據れば帝政後宣統帝は帝號を廢し別に『大汗』の稱號を與へ黎元洪氏は王爵を得て全然政界軍界から隱退し徐世昌氏は中風にて喉頭部の一部痲痺し居れば將來無用の人物たる可しと而して帝政派も袁皇帝登極後數年ならずして大動亂起る可しと豫想し居るは事實なり（北京特電）

◎李王妃御觀覽

李王妃殿下には寺內總督夫人御帶同にて侍女を隨へられ廿一日午後一時より自動車を驅つて共進會場へ御成あり、懇に場內御觀覽ありたり

◎李埈公御歸京

李埈公殿下には二十日午後五時卅八分南大門驛著列車にて金村より御歸京ありたり

◎木內氏總督訪問

貴族院議員木內重四郞氏は二十一日午後七時五十分南大門驛發汽車にて歸東に就き同日午前總督府を訪ひ、寺內總督をはじめ山縣政務總監其他各部長官局長等に挨拶ありたり

◎農業技術者入京

慶尙北道農業技術者五十餘名は二十日夜入京二十一日朝總督府を訪ひ夫れより共進會場を觀察せり

□共進會入場者

二十日（水曜日、晴）
▲晝間 四千四百九十三人
內地人 一、三二九 其他の外國人 [illegible]
朝鮮人 二、五九五 無料者 一、六四八
支那人 二二
▲夜間 二千三百八人
內地人 四五九 其他の外國人 七
朝鮮人 一、〇四三 無料者 七九三
支那人 六
合計 六千八百一人
開場以來累計 六十七萬九千九百四十四人

◎市原氏追悼會

朝鮮銀行總裁故市原盛宏氏の遺骨は二十日夜東京著四谷大番町の邸に入れるが二十二日は神田靑年會館に於て澁澤男の發起にて盛大なる追悼會を擧行すべしと

人事消息

▲田沼鐵三郞氏（滿鐵營業部長）二十日出發歸任
▲田中遷氏（黃海第一部長）廿一日出發歸任
▲スターチ博士 二十一日出發大邱へ
▲村瀨文雄氏（大阪砲兵工廠砲兵少佐）廿一日朝入京山本旅館へ
▲井原德松氏（砲兵中尉）同龍光館へ
▲澁谷太吉氏（漢湖農工銀行大邱支店支配人）同不知火旅館へ
▲靑木良雄氏（下關市長）二十日釜山へ
▲森田秀次郞氏（光州地方法院判事）同歸任
▲黑石憲治氏（砲兵中尉）廿一日朝歸任
▲京都商業專修學校職員生徒六十二名 入京[illegible]
▲傅錦氏（吉林派遣員工事士）▲傅疆氏（交涉員）▲范原澤氏（翻譯官）廿日仁川より引返し朝鮮ホテル投宿廿一日朝出發歸國
▲陶彬氏（延吉道々尹）廿一日朝出發歸國
▲吉田茂氏（安東領事）同歸任
▲木內重四郞氏（上院議員）廿一日午後七時五十分出發歸東
▲白山淸太郞氏▲白山茂次郞氏（大阪貿易家）廿日午後入京朝鮮ホテルへ
▲岡村柯一氏（倉敷實業家）同上
▲荒木揩作氏（朝鮮留學生監督）十九日入京
▲中村新太郞氏（鑛務課技師）鑛床調査の爲め來月早々忠北、慶北へ出張

南言北語

巴爾幹戰爭も日々に戰機が熟して來た▲聯合軍は土耳古のエノス灣に上陸して勃國境のデデアガッチ港を占領して鐵道の重要地點を占領し▲一方勃國のストルミツァで勃軍を破りサロニカから同地に到る鐵道を占領し▲又た塞國に進んだ一隊はヴァランドヴオで四萬の勃軍を擊破したと云ふ▲心配した聯合軍も今日迄の處存外大に强い▲が、之れは勃軍が弱いからではあるまいか▲と思つて居ると勃軍の大部隊はヴラニヤに進してサロカとニッシエの鐵道を切斷したと云ふ▲其處で聯合軍が土耳古と勃國との鐵道連絡を切斷した代に▲勃軍はサロニカと塞國の首府ニッシエとの鐵道連絡を切斷した譯になる▲今迄はほんの準備戰だから何方が强いとも弱いとも云へぬ▲北雞晨を告げる希臘は聯合軍に通路を貸しても知らぬ顔をして居るが懷手で國土の擴張を狙つて居た羅馬尼も最う何方かへ動かねばなるまい▲上海で彈藥銃器を押へて見ると之れが獨逸人から印度行きのものだつたと云ふ▲獨逸としては印度に騷動を起させんと大分詭策して居るのだらう英國では之れが非常に苦しいからなあ▲但し獨逸が東洋にて何事かやらうなら日本が控へて居ると云ふ事を忘れてはならぬ▲戰爭は何うでもよい吾曹は十一月御擧行の千古の御大典を大に奉祝せねばならぬ▲六千萬の蒼生は天壤無窮を奉祝し動きなき大和島根の萬々歲を大に祝せねばならぬ▲十一月十日御卽位禮當日午後三時三十分紫宸殿の儀に於て▲大隈首相が壽詞を奏し畢つて前庭に樹てられた萬歲旛の前に立て『萬歲』を高唱する▲之と同時刻に日本帝國全土の各官衙學校を始め六千萬の同胞が揃つて萬歲を三唱し寶祚の無窮を祝し奉るのである▲我社では諸君の爲め其の奉祝に用ゆべき萬歲旛を實費で諸君に分配するから官衙學校を問はず同胞諸君は此の萬歲旛の前で熱心に萬歲を三唱するが好い敢て言子から勸告す

北野丸にて渡歐の途中 坂田鳴海

十四日

九州の山は昨夜左舷に薄れ行き、濟州島は今朝右手に消えてしまひ申候船は支那海に入る、愈々故國の山に當分のお別れと相成申候明朝は上海の客と相成るべきか、古倫母に著くは十一月三日の豫定、此處よりは印度に入り可申候

御大典記念十一月號 少年世界 東京本町 博文館
◙寶の羽衣（小說）……小波
▽奉祝唱歌の意味……佐々木博士
◙御大典の御次第……高原
▽日出度き御大典……荻野博士
◙四川の激流（冒險小說）……黑田湖山
◙朝鮮みやげ……坪谷水哉
▽臺灣名産バナナ……川上學士
▽父の行方（探偵小說）……[illegible]
▽千人風呂（滑稽紀行）……竹貫佳水
◙好んで毒を飲む人……横山博士
▽滿洲銃聲の一夜……橋本曉天
定價十錢郵稅一錢半

少女世界
◙御大典の話……關根博士
◙八千代鳩（少女歌劇）……巖谷小波
◙秋の少女物語 木犀の花、忘れ得ぬ夕日、絹ちゃん、白壁に照る夕日
◙コスモスの思ひ出……沼田笠峰
▽秋の草木の傳說……小林紅村
◙空中の救ひ（冒險小說）……押川春浪
▽お人形のゑくぼ……[illegible]
定價十錢郵稅一錢

家庭博入場者に限り
▲民友社出版書籍 全部二割引
京城日報代理部

實業之日本 秋季增刊 青年號
青年の境遇問題 □先輩は如何に青年に同情せよ……
青年の方針問題 □父母の青年指導法…… □青年立志の大方針……
青年の就職問題 □工業界の求むる青年 □保險界の求むる青年 □貿易界 □銀行界
青年の自覺問題 □技能的特徵を自覺せよ……
青年の修養問題 □青年期に三事の修養…… □努力の一大目標……
◎現代諸名士の後悔 名士が青年時代に此く〳〵の事を勉め置けばよかりしと後悔する事ども
◎名士の理想的人物 並に青年に座右銘推薦すべき書籍
青年團問題 □地方青年團の革新につき新方針を說明す地方人は必ず一讀を要す……
青年の危機問題 □青年期の精神的異常 □青年の悲慘な末路……
青年の自殺問題 □自殺か奮鬪か……
青年の結婚問題 □將來に不利益の結婚は如斯…… □若い女の見る若い男の……
青年の運動問題 □青年期運動の三大効果……安部磯雄
十月十日發行 通常號の倍 一冊二十錢 郵稅二錢 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六

大共進會

一時間一分

山野市街横斷競走の先著 各選手共孰れも元氣旺盛

京城協贊會主催の京城山野市街横斷競走の壯擧は雨のため延期したる二十一日午前十時から行はれた、此の日朝の程から降りみ降らずみの空模樣の上に風さへ加はつて強く選手達の苦心もさこそと思はれたが何れも毅然此の壯擧に與らんとせし者、兒して選り抜かれた

▲**五十名の長髄彦** 必勝の決意鮮かに眉宇の間に示して八時過ぎより協贊會に詰めかけてくる、九時過ぎ授賞委員長の吉原會長審判委員長の山形大佐、審判委員の井上理事長、原田、金谷、白の各副會長、石原理事以下の各理事、各新聞通信社長等相前後して到著すれば出發準備に取懸る、**決勝點整列** 順は抽籤で定め十時になると審判委員長より選手一同に對し競技に關する一場の訓示を與へ時針十時十分を示せば轟然たる號砲一發競走開始を報じて協贊會前のスタートは切つて落された、待設けたる五十名の健兒が

▲**宛然飛鳥の如く** 疾風の如く先を爭うて出發すると共進會入口の三箇所は悉く開放され群がり寄つた觀覽者は一齊に道を開いて喝采を浴びせかけその發途を壯んにする疾驅一擧に勝を占めんとする者、悠々緩歩を執つて持久の策を圖る者、電車通りを左に折れて鍾路通りに出た頃までは各選手とも敢へて**焦躁らず、急かず一進一退**雁行しつゝ進んだが第一の關門たるパコダ公園に入るに及んで著しく活氣を呈し、猛烈なる爭覇戰が始まり白襯衣、白猿股に赤の襷を横に紅白の山形鳥打帽子を冠いた七號の宮迫、三十號の中釜選手は並行して群を抜き韋駄天走りに

▲**水標橋から永樂町** に出る此の時は既に後に續く十八、三、二十四號選手と間を隔つる事約一丁、日出町より倭城臺町の峻坂を苦もなく驅登つた選手は第二の通過地點たる南山音樂堂にて捺印と通過認知の服證を受け林間又は**急坂を縫うて喘ぎ喘ぎ突破する事** 霎時、遲れたる者は此處に先頭を抜かんとし先頭は更に跳躍一番後方との間隔距離を延長せんとして茲に猛烈なる競走は期せずして演ぜられ各選手の眉宇殺氣傛として漲ぎり死力を竭して相爭うたが第三通過所の漢陽公園探照燈臺附近では先頭互に角する者が出來た、此處の

▲**難所は城壁越だ** 城壁に傳うて降りる者、降口を尋ねて迂路々々する者が多かつた中に一位を執つて進んで來た宮迫七號選手は**面倒とばかり丈餘の城壁を翻然と身を躍らして畑地に飛降り**練兵場に向けて走り出した第四通過所たる練兵場の飛行機格納庫に著いた時に十時卅五分此處では二位に續いて來た中釜三十號選手と並行し後方とは約二丁の距離を隔つて進み電車通り迄雁行したが山下町三角道路より旭町の官邸の道路において七號選手は約半町を除り三十號選手を抜ぎ**一行は官邸を通過**して之より先きは坦々たる平地はかりであるのに意氣更に軒昂、龍山驛前より旭橋通りを榮町に突破し

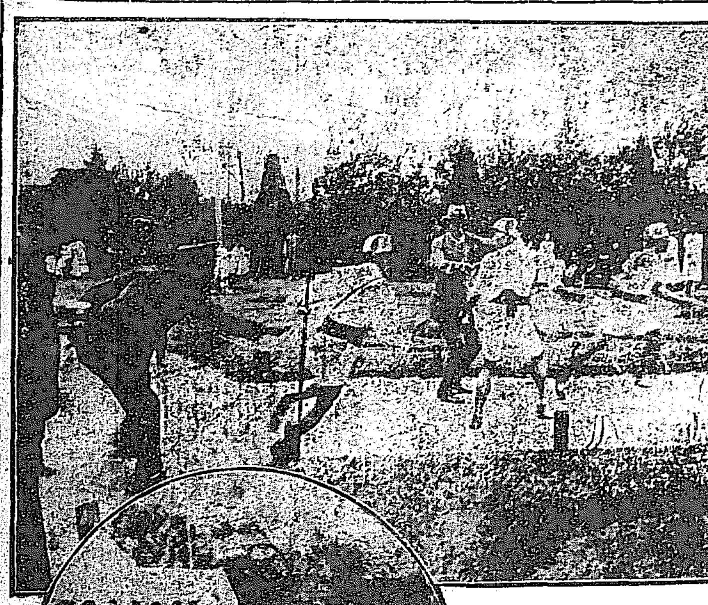
▲**第六の關門たる** 印刷所前にて證明を受け第二位並びに後方選手とは約二三分の相違で此處を發し舊龍山市街を縦貫しつゝ疾驅すれば應援隊は各所に待受て聲援し**自轉車、徒歩にて選手に付添ひ鞭撻督勵に努**むる者漸く盛んになり沿道人垣を築く見物の聲援を浴びつゝ青葉町より古市町に出で南大門通りを最後の通過地點なる崇禮門に協贊會員の勵聲を聞きつゝ太平町通りより京城日報社前を過ぐれば遥かに會場を望み見て各選手は猛烈跳躍

▲**渾身の勇を鼓して** 最後の勝利を收めんとするの勢ひ凄まじく倒れてのち已の決心を強めて進むに應援又熱し來る時、進二無二に走つて終始一位を占めて來た七號選手壽町花家組車夫**宮迫新吉君の破るゝが如き喝采裡に決勝點に入つた**のは正に十一時十一分、一時間一分であつた、續いて一分餘遲れて西小門組車夫中釜次郎助君二著續いて旭町一丁目太平組車夫彌富末吉君三著で到著しそれより十一時八分までの間に二十著までの選手は全部決勝點に入り不幸にして入賞しなかつた者も僅かの差であつた

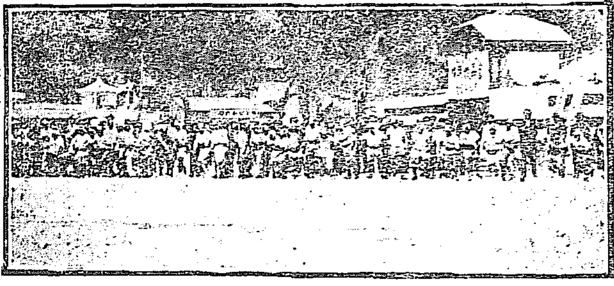
▲**一著より廿著迄** 優勝者は左の如く正午から角力館内で山形大佐の審判報告があり吉原會長山形大佐以下各係員參列**優勝者に對して賞品授與を爲**し茲に此の空前の長距離大徒歩競走は終りを告げた因に第一著の宮迫選手は本年春の市街横斷競走にも名譽の第一著を占めたさうである

第一著壽町 車夫 宮迫 新吉（二六）
第二著西小門 車夫 中釜次郎助（二九）
第三著旭町 車夫 彌富 末吉（三三）

第四著南山町二車夫菅原多七（三七）第五著太平町新聞配達高澁一政（二七）第六著明治町同上北川鋌治（二七）第七著太平町同上園元武夫第八著同車夫諸富卯吉（二八）第九著蓬萊町同上中島敏雄（二五）第十著本町二車夫別府熊（二九）第十一著太平町同上辻太吉（二六）第十二著旭町同上沈承夏（二八）第十三著蓬萊町消防夫佐々木條一（二七）第十四著鍾路車夫張得永（三一）第十五著本町二同上韓聖七（二六）第十六著西小門同上藤松一次（三十）第十七著明治町新聞配達前澤三之助（三三）第十八著同同上市村正之助（二〇）第十九著太平町同上吉永太郎（三十）第二十著旭町車夫野田牧太郎



上、パコタ公園（第一通過地）下、共進會場決勝點一著選手



賞品授與と出發點

◉文展入選の西洋畫百四十七點

本月十五日より開催の文展入選西洋畫百四十七點に達し連日審査を行ひ二十日審査委員に於て決定したる入賞者左の如し（東京特電）

△二等賞
晩春 長原孝太郎
葡萄棚 南薫造
冬の小川 三宅克己
新 太田喜二郎
背像 中村彝

△三等賞
麥はたき 大野隆德
鏡の前 森脇忠
入江 柚木久太
紅葉の下湯 牧野虎雄
凝の摘 小林萬吾
張影 田邊至
落葉 辻永
褒狀山下均以下九名なり

◉行衛不明十三名

江原道三陟郡府内面興津沿岸に於て二十日夜風浪荒みたる爲め帆船一隻難破し乘組員の内一名は遂に溺死し其他十三名行衛不明となり船體積荷共損害見積額約八百圓なり急報に依り所轄憲兵所にては救助船急行の筈なるも同夜は風浪烈しく二十一日午前八時迄尚ほ救助不可能の有樣にて風の歇むを鶴首して待ちつゝあり因みに船乘組員等は内地人なるか鮮人なるや今の所不明なりと（廿一日午前八時三陟電）

廿四日龍山鐵道コートにて擧行
本社主催 全鮮庭球大會
出場選手は至急申込あれ

◉追剝遂に捕はる

京城訓練院より東大門に通ずる路上に去る十七日午後七時頃昌信洞李種夏方雇女（七）といふ本年齡三十四五の鮮人二人の鮮人に出遭ひ暫らく話し居る内一人は雇女の髮に差しある銀製の簪一本を抜き取り他の一人は同女の携へたる風呂敷一個を強奪して兩人共現場を逃走したり急報に依り本町署より警官出張し現場及び同女に就き檢證の後共に極力犯人の檢擧に努めたる結果遂に二十日午前一時頃一名を黄金町二丁目路上にて他の一名は同三時頃舟橋町にて逮捕したるが犯人は南部大山林具春植（三二）及び舟橋町百十四番地申泰龍（二五）の兩名を引致したり彼等は前記の事實を自狀したるが尚餘罪多き見込にて嚴重取調中

◉妻の爲に惡事

全南海南郡地方金融組合理事内海柳之助（三三）は明治四十四年以降同組合理事として勤務し居れる所本月中旬迄に同組合員の名を騙り文書僞造をなして組合公金一千六百餘圓を横領費消したること發覺し所轄檢事局に引致され目下取調べを受け居れるが同人が是等多額の金員を横領するに至れる原因とも見るべきは同人の妻女の虚榮心強く界隈切つての評判女とて夫が公用の爲め地方へ出張する際は必ず同伴し横領金中約八百圓は妻の衣類化粧品費に充當したるものなりと

◉家庭博破天荒の催し

天勝探しは今夜

後で天勝一行の大奇術

家庭博覽會

◉今夜の變裝美人探し

奇抜な大趣向—少々雨が降つてもある—捕へらるれば奇術を演る

湧くが如き人氣を呼んだ家庭博にて開催の天勝一行の懸賞付き變裝探しは今夜七時から始まる、二十日の夜は朝來の雨で延期となつたが天勝**一行は非常な意氣込み**で**今夜こそは少々雨が降つても行りたい**と云ふ元氣で、天勝以下天花、百合子、靜子の三美人と一幸天右の二奇術師は七時から變裝姿で家庭博場内に現はれる、此**六名の變裝者は發見せられると其罰金として**カチカチ山の舞臺で十八番の奇術を見せることになつて居るから今夜の入場者は六人の變裝者全部捕へて欲しいものである、變裝者發見の方法規定は場内各所に張り出してありますから能く之れを御覽の上變裝者を捕へられたい規定に戻る樣なことをしては發見しても無効になりますから特に注意を願ひたい今夜こそは少々位雨が降つても家庭博場内で催しますから此大奇抜な趣向を見落さぬ樣七時前から入場せられたい

◉石龍子氏講演 日出學校に於ける

京城にて好評を博せる石龍子氏は豫て入京大好評を博せる石龍子氏の[illegible]相學は何分日本一の大家のこと一方去る十八日以來日出小學校にて講演せる氏の性相學講義は連夜の好評にて聽講者頗る多く特に二十一二日の兩日は講演の眼目たる顔面及び頭部に關するものなれば此の際特に聽講料半額にて入場せしむべしといふ、開會時刻は午後七時過ぎより同十時迄

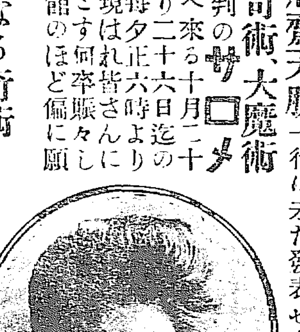
◉有樂館と天勝

共進會演藝館に出演して大喝采を博したる松旭齋天勝一行の大奇術は愈々二十二日より向ふ五日間開演し封切り奇術天勝得意の大魔術の外大評判のサロメを演ずる由なれば定めて大盛況を見るべし

髮を黒く長くつやを出さらく として髮のぬけを防ぐ妙品
金銀牌受領
本舗大阪 三宅堂

滯鮮中の御高配御歡待を感謝仕候
十一月二十一日
高知縣朝鮮觀光團長 一柳喜之助
京城 釜山 大邱 土佐人會各位

眼科內科 小兒科 本田醫院
京城黄金町三丁目赤門通（電話二四四二番）
入院隨意 院長 本田建義

天勝一行有樂館に現る
乘て共進會場演藝館に於て未曾有の盛況を博したる松旭齋天勝一行は未だ發表せざりし最新式大奇術、大魔術の外評判のサロメを加へ來る十一月二十二日より二十六日迄の五日間毎夕正六時より弊館に現はれ皆さんに見えんこす何卒賑々しく御來館のほど偏に願上候
◉重なる奇術
▽不思議の扉 ▽塔中の美人 ▽サロメ劇
▽滑稽奇術種あかし ▽音樂の合奏 ▽其他十數番

京城本町一丁目 電話二六六番 有樂館
◉入場料 △特等金九十錢 △一等金七十錢 △二等金五十錢 △三等金三十錢

イケダ小兒病內科醫院
池田季雄
京城三越呉服店前へ入る地町四丁目 電話（醫院 自宅）一二三 八八〇番

滿洲へ往く人のみやげは大連で
支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る
大連の方外軒は之を旅館正札に資る方外軒は北支那第一の支那專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

旅館 元山 愛媛館
電話 二三三番

三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒 朝鮮特産海老の精
海老の精は 風味佳良。滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土産として絕好の珍品に御座候
三和高麗磁元 海老の精發賣元 朝鮮鎭南浦 富田商會
特約店 京城 龜屋 同 津村商會 仁川 濱川商店 平壤 龜屋支店 大邱 龜屋支店 清津 青木商店 江景 岡商店

商況
合同新株 … 鐘淵紡績 … 同上新株 … 東洋拓殖 … 大阪商船 …
大阪三品特電
二十一日前場 …
十一月限 一一九、六〇 一一九、六〇
十二月限 一二〇、九〇 一二〇、八〇
一月限 一二三、三〇 一二三、三〇
二月限 一二三、六〇 一二三、四〇
三月限 …
◉廿一日前場（山口銀行調べ）
寄付 當限 中限 先限 …
下關相場
▲朝鮮米は不味 其後玄米百八の輪入に激落して …
… 手合せ行はれ其他彌々の出來直は左の通りにて入著したるは大川物百五十俵 …
△大川大豆 △鳥致院大豆 …
◉綿糸と綿布 …
天氣 曇り但少雨
十一月廿二日
日出 六時四十六分 日没 五時五十一分

夜の家庭博下足場の混雜

慶州芬皇寺九層塔內 石槨中より古物二十三點發見

既報の如く目下總督府に於ては新羅の舊都慶州に於ける芬皇寺九層塔保存の爲め改修工事に著手中なるが工事中去る十七日該九層塔頂上第三層中より方二尺の石槨を發見したるが工事監督技手飯島源之助氏は兼てより何等かの豫期を有したる事とて欣喜雀躍早速是を開披し在品調査をなさんと取敢す慶州郡廳に通知し併て警察署長阿宗郡書記の立會を求め是れを開披せしに驚く可し別項の如く二十三點四百五十箇の古物あり其用途に就ては今輕々しく判斷を許さずと雖も何等かの記念品にては非ざるか是が處置に就ては飯島技手より直接內務部長官に伺出で現品は一時慶州郡廳に保管中なり今發見物の目錄を示せば左の如し

▲銀製盒(徑一寸三分)一個▲貝殼三個▲水晶平玉(圓徑一寸六分厚六分)一個▲飾玉(金鍍金長さ八寸五分)一個▲鋏(銅製)一個▲飾金(金鍍金)六個▲針筒(金銀內金針一(長一寸二分)銀針一(長同)二個▲金鈴(約徑三分)二個▲金(携物メタル形)六個▲金飾金破片五箇▲銀製鈴(經約一分五厘)一箇▲古錢(常平五銖、宗寧重寶)二箇▲飾玉三百四十八個▲曲玉(大小)十四箇▲金屬製糸卷(徑八分)一箇▲瓢簞(石製)一箇▲土瓶口破片一箇▲玉破片(大小)二十七箇▲銀製平瓶形携物(徑一寸五分)一箇▲香木一箇▲金物破片三十箇▲石破片七箇▲砂袋二箇

木浦棉花近況 出廻と指定價格

本年の陸地棉は既報の通り價格高きと資金融通の關係より買收開始以來甚しき出荷なるが當三棉業會社買入所に就き聞くに十六日迄に木浦に廻著したる者のみにても既に八十有餘萬斤にして現に各販賣所より引取り廻送中のものを加ふれば優に百三十萬斤に達すべく光州分工場のみにても十二萬斤以上に達し其後引續き各販賣所より出荷多き由の電報あり每日の支出金は三萬圓を超過せんとす又た初荷匆々より非常に高値なる爲め指定價格變更期には或は低落することなきやと懸念されたる全南棉花指定價格は十六日夜に入り道廳より通牒ありたるが之れに依れば大阪ミッドリグ相場四十圓九十錢にして前値より實に一圓三十錢の騰貴となり農民及び會社側共意外の念に打たれ殊に會社側は然らずとも廻著多くして繁忙を極め居る折柄更に一層の廻著を見るべく延ゐて益々早取の弊を誘致し種子の不良に伴ふ損害尠なからざるべしと懸念しつゝあり新指定價格に依る木浦相場如左

木浦工場買棉百斤に付

一等	十二圓四十二錢六厘
二等	十一圓十八錢三厘
三等	八圓六十九錢八厘
四等	六圓二十一錢三厘

家庭博の景品福引 いよく出で、愈よ妙 當り籤次第に多くなる

御眞影奉安 木浦府及小學校

木浦府及び小學校に下賜の御眞影は道廳より橋本府尹吉村校長捧持し十八日午後四時木浦驛に御安著プラツトホームには木浦官民有志在鄕軍人會各學校生徒奉迎し奉戴の列車徐行し來るや一同脫帽最敬禮を爲し斯くて橋本府尹吉村校長は鞠躬如として降車し停車場より腕車にて道野署長先導し府廳及小學校の御眞影室に奉安し茲に各員最敬禮を行ひ退場す此日市中は國旗提灯を揭げ祝意を表す

御眞影奉戴式

御眞影奉戴式は二十日午前十時三十分道廳會議室に於て最も嚴かに執り行はれたり道長官外道廳高等官全部及び關係者一同參列、軈て定刻を報ずるや松永道長官は御眞影を捧持し關係者中野鎭南浦府尹辻平謙尋常高等小學校長小川鎭南浦尋常高等小學校長等順次之を奉戴し正午無事終了せり

國境生牛市況

國境底靦生牛市場に於ける生牛取引は依然旺盛にして九月中の輸出數は二百四十二頭價額八千百三十七圓に達し六八月に比し百二十五頭を增加せり然るに近來露貨の幾分値直し又況も一層の活況を見るに至り生牛の賣行良好にして相變らず不足を告げつゝある有樣なり而して龍岩浦輸出生牛は本年六月以來對岸隊峰露國檢疫所に於て牛疫血淸注射を行ひ異狀なき生牛を浦鹽に輸送し來りしが近時に至り氣候稍冷に屠肉の腐敗する虞れなきに至りたるを以て同檢疫所にては煙秋子にて屠殺し生肉にて浦鹽に輸送するものに限り九月二十六日より血淸注射及び二週間の檢疫を施行せざる事となりたるを以て輸出者に取りては非常に便益となれり

連絡船上陸客

二十日朝入港新羅丸一二三等乘客(一等三名外國人二(二等三十六名)福田眞二、市田政次、土本準造、同高六、同みつ、同止雄、同義雄、杉尾柳、同うた、同拓一、同慶十、同校、同富士子、同四子、同淸子、鈴木りん子、高崎準吉、山代泰、同友代、同はる代、吉川繁吉、內貞吉、天野正、小泉聰吉、高永源次郎、小網多喜治、勝川與三郎、千葉啓造、同致和子、鶴山作二郎、エピハッセル、德川勇龍、山根かい、白山清太郞、同政二郎、中野健造、木川まつよ、同みつ、平山まつえ、小谷きし、同健次、同幸助、千家みね、同まつ、坂本つじ、同はる子、笹本種二郎、臨口長助、小川貞夫、檜本敬藏、高橋たか野澤かなよ、今村きくえ、須乃內常太郎、安藤守國、同つえ(三等百九十七名)

大連より

大連常置員

▲滿洲馬賊討平 奉天の段上將軍は著任以來鋭意事務の刷新に努め近く實施せらるべき東三省特別行政統一の素地を作りつゝあるが一方出來得る限り軍警力を充實し先づ滿洲の患害たる馬賊に對し積極的討平の策を立て外人の生命財產を保護し且此の馬賊の爲に外人よりの干涉を受くることなからしめんと部下を督勵して昨今頻りに工風を廻らし居れり北京中央政府よりも馬賊は東三省の巨患なれば吉林、黑龍江兩將軍と會商して速かに剿施の功を樹つべし經費不足なる時は中央より補足すべし而して逮捕せる馬賊は悉く死刑に處し敢て假藉するなかれとの嚴達ありたりと

▲邦人雜居拒絕 滿蒙に關する日支新條約中の眼目とも云ふべき土地商租及び內地雜居は事實上未だ見るべきものなきが此程滿洲居住の邦人四名が遼西地方の前途に嘱望し先づ支那人の名義にて錦州に一家屋を借入れ其處にて宿屋業を營むことゝし家屋賃借に就いては所有支那人との間に契約書まで取交したるに同地の南關巡警局は突然名義人たる支那人を引致し且家屋所有支那人に對し日本人との契約を取消すべしと迫り且爲め邦人四名が期日に至り引移らんとするも能はず而して同地滿洲に於ける日本人の雜居權を認めたるも南滿洲なる地域未だ明かならず朱知事『日支條約において支那は南滿洲外にして錦州は即ち其の以外地の一部なれば此邊は總て條約適用地と認むる能はず隨つて日本人の雜居を承認し難し』と唱へ頑として動かず止むを得ず邦人四名は當口の我が領事館に出頭して逐一事情を訴へ我が領事館は直ちに榮道尹に對し交涉を開始するに至れり今後邦人の雜居については猶ほ此類の行違ひを生ずること尠からざるべく土地商租の如き最も面倒ならんと思はる

◎『青年』號出づ 東京青年社は時代に立つ現代青年の立場を說明し其要求を明にして青年をして諒解せしめ覺醒せしめ以て自ら解決せしめんが爲め茲に第一個の青年問題を提供す日本秋季刊『青年號』是なり先驅は青年に對し『先覺者の表すべし』と云ひ大野、澤柳の諸博士を始め各界の大家十數名を網羅して青年の境遇問題、思想問題、職業問題、危機問題、自覺問題、結婚問題、修養問題、運動問題、自殺問題等を論じ近來稀に見る壯觀を極む一木內務大臣の青年團問題は地方青年會の新に改革されたる今日必讀すべきものなり

演藝案內

壽座 本町五丁目 電話五七八 鮮明優雅、嶄新奇抜大活動寫眞 ▲新派『人の思』上中下 ▲舊派『松平騷動』上中下 尾上松之助一座 ▲泰西探偵劇『闇黑城』上中下 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 十月二十三日よりの三大寫眞全部差換 ○實寫白耳義軍東海岸の慘狀 ○滑稽シモン君の大活劇『鐵壁』原名『窮鼠かたらう』▲泰西劇『花筏』[illegible]

龍光館 龍山停車場前 電話(龍山)四四番 [illegible]

佐久良座 龍山 新派『家庭教育劇』大橋幸太郎一行 當る十月廿日初日開演 入場者三百名迄に限り精菓子贈呈す

御成座 御成町 電話二九一番 十三十九回替藝題 (一)嗚呼此の妻子 (二)舊劇お染久松質屋の場 全七場 全一場 大人(一人前)小人 早い者勝 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三番 當る十月廿一日より寫眞全部差換 ○實寫ギリシヤの古跡 ○滑稽下男催眠術 ○新派悲劇『朧夜の頃』全三卷六千尺 ▲日活會社新派劇 ○泰西冒險大活劇『大西洋の一夜』最長尺 ▲ニウフィルム會社傑作 [illegible]

有樂館 本町 電話二六六 新築落成 當る十月廿二日より同廿六日まで五日間 ○松旭齊天勝一行の大魔術 ○『サロメ』○不思議の扉 ○塔中の美人 ○滑稽奇術種あかし ○音樂合奏 ○其他大小奇術十數番 [illegible]

大正館の三大寫眞 新派劇 朧夜の頃 泰西劇 大西洋の一夜 舊演劇 鬼神太郎 何れ劣らぬ特撰大寫眞揃

浪花館 明治町 電話二六〇番 特別大興行 東京落語大一座 桂小南一行來る [illegible]

酒精アルコール
手印最上等品及KK印爪哇產格安品各種新荷著取揃居候間御照會次第特別勉强直段御通知可申候
酒精直輸入一手發賣元 仁川京町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

食料品雜貨
食料品 果實 青物 海產物
問屋 京城旭町一丁目(電話八四二番) 岩城馨商店
南大門市場卸部 振替口座京城一〇六番

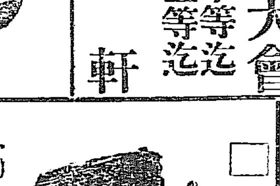
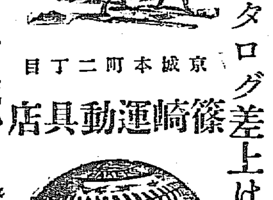
かや・わた
呉服店 京城黄金町二丁目 電話二三三一番 振替三六五
丸一綿部
毛布
薄利多賣

秋季玉突競技大會
期日 十月二十二日、二十三日、二十四日、二十五日
會費金五十錢均一 改元劵金五十錢
賞品 一等より十等迄 特賞一等より五等迄
會場 京城明治町 大正軒

京染 [illegible]
露西亞物產雜貨一式
歐米洋酒食料品
北鮮產石鍋石器類
元山府仲町 西澤商店 電話四六番 振替京城二七四九

御大典記念植樹
果樹 山林 苗木及び草花
御大典好個の記念事業は植樹なり植樹は春植よりも秋植の方成績良好なり
原產地と特約し優良品廉價提供
京日仁川代理部 電話二四〇番 仁川濱町
定價表進呈

婦人科 產科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
電話二三四〇番


秋期カタログ差上げます
京城本町二丁目
篠崎運動具店


運動具は京城シノザキへ

比較は最良の撰擇法なり
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番
振替京城五七番

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥賣藥卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 一二三〇、一二七四〇
振替貯金口座京城二一三五

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話 一三三、一〇六、一二六〇、一六一三、一六一二、一二六一
振替貯金口座 京城三三三番
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

種類	拂込	二十一日前場止值	同日後場止值
宇治川水	五〇〇	[illegible]	[illegible]
神戶電鐵	五〇〇	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	五〇〇	[illegible]	[illegible]
和歌山水	三五〇	[illegible]	[illegible]

大阪株式も東新大株も頃日來の品薄に一息したるが今前場は漸く落付模樣に星し宇治電は新の六十高を見たるのみにて其他一二の二十錢方の變動ありしも大體に於て持合氣味を呈せり

[illegible]安を以て打止めたり元來が下落り氣の底堅かりし後にて賣勢は餘りに買さいよを得ざるも原棉の引締りに氣を刺戟しつゝあり

	寄付	引
十月限	一一八、五〇	一一八、〇〇

下關期米特電

▲二十一日前場
當限寄付 一一二、二六
中限寄付 一一二、五〇
先限寄付 一一二、八四
止

朝鮮物產待電

釜山仁川上白十錢高仁川中白木浦[illegible]

▲大豆は活氣なし[illegible]

▲同二等白米(當用) ▲同三等白米(當用) ▲後仲大豆(現品) ▲同白上品 ▲裸麥六豆

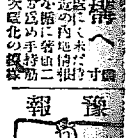
麥粉稍氣直る

[illegible]

燐寸先高構へ

[illegible]

豫報



京城測候所 二十一日午後二時 [illegible]

越後大評定

第二十席　早川貞水口演

家康の決心

秀『其方等は、世間の事を能く知る奴である、萬一大阪に指でも差す者あつたる時は、此秀康に知らして呉れ、秀康軍備を整へたることにて其より大阪へ乘込み秀頼公に弓ひく者は、此方引受け、只ひと破りに踏潰してくれる』正『ウ、へーツ』秀『好き折柄である、是は差古したるが汝に取らする』スラリ小刀を拔き　正『是れはソレツ』と御出しになる　正『是れは／＼、時ならぬ頂戴物、有り難く』手を延ばして小刀を戴かうとするとグイッと御引きになつた、ハッと思つた途端、小刀の鐺を佐渡守の襟の所へサッと差し、グイッと鐺に掛けて佐渡守を宙へ垂下げる、アーッと驚くのを『汝のやうな狸親爺、目通り能はぬ』ズドゥーン、向ふへ御投げになつた、佐渡守向ふの御襖の際へドシーン、打付けられた、襖を細目に開けて何事かと家康公御覗きになる、秀康大口あいて『ウ、ハ、ハ、ハッ、イヤ近頃當城中は御普請前と見えて、大分狸が見える、今も古狸が彼處へ覗いた、ウー、ハ、ハ、ハー』イヤ驚いたのは家康公、パッと御閉めになつた　秀『藤五郎御待遠であつた』藤『ハッ』秀『萬一關東關西手切れとなつて戰ひ始まつたる時は此秀康大阪へ味方する、藤五郎味方を致すか如何ぢや』藤五郎も懸いたが　藤『其節は兵粮位は御送り申上げる』たつた一言仰つしやたのだが此事を中納言政宗聞かれて、早速藤五郎を廢嫡いたし、次男忠宗を以て伊達中納言として相續願出で、藤五郎は別家して、伊豫國宇和島の城主十萬石、伊達遠江守秀宗と申し上げ準國守と相成りました、今日は御本家の伊達家は伯爵であるけれども此宇和島伊達家は侯爵にして、宮家の御親戚となつて堂々たる御勢だつた一言仰つしやつた丈で御廢嫡、たつた十四萬石を繼ぎ損つて、十萬石の國守となつた、其くらゐ昔は德川内府公を怖れたもので御坐います、此時佐渡守再び御前へ出てきますると、小さな御聲で家康公　家『正信』正『ハッ』家『秀康に擲り居つたな』正『ござる、恐れ入りまして御坐る』家『佐渡困つたらう』正『御洒落どころで御坐らぬ恐れながら能く／＼御思慮あつて然るべく、大阪を今の内御手入れこれなき時は、後に由々しき御大事、それに就て秀康公在はしては……』と申し上げる、内府家康公、佐渡守の顔を熟と御見詰め遊ばし、ハラ／＼と御落涙、天下を泰平に治めることにて、朝廷へ忠勤することも容易ならない、關東關西兩流に天下が岐れ居つては、何日までも下萬民塗炭の苦み、肉身なりとも、天下のためには換へられぬと御覺悟になりました所へ秀康公御暇乞に出まして、内府公へ　秀『長らく當御城中に滯在仕りしも、此度國許へ立歸へりまする、隨分御機嫌宜しく』家『最早秀康歸國の準備整ひたるか』

共進會最上のおみやげ　滋養大關　玄梅　乃木餅　一箱十五錢　京城本町壽館前乃木餅屋　電話二七五三へ御注文迅速御屆し升

皮膚科　入院隨意（診察夜九時迄）　皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（元町）　佐藤醫院（電話一一七三番）

月やく　月やくさまり他の藥を用ひ効なく御心配の方　東京で一番信用ある私方へ三錢切手添申込あれば害なく不思議に下る妙藥を知らせす　東京市四谷信濃町停留場前　森田屋

惡疫豫防と　柏村博士のヘルプ
▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり
▲故に此際何人も腸胃の健全を主劾とするヘルプを服用せよ
定價　十錢　廿錢　卅錢　五十錢　一圓
主治効能　▲暑傷　●水傷　●食傷　●冷腹　●食過ぎより起る下痢　●腹痛　●吐瀉　●頭痛　●眩暈
本舗　東京市日本橋區本銀町　津村敬天堂　取次全國各地藥店

平壌　客室親切　大和町　松岡旅館　電話三〇五一

陰萎病並に神經衰弱に大効あり　滋腎　田春丸　三週間分金七十五錢　送料各二錢　東京銀座　岸田吟香　電話新橋六二番　振替口座四七七番

十月二十二日九星　舊九月十五日　丁亥　本命一白北除大安

警視廳許可　内務省衛生試驗所試驗濟　東京市衛生試驗所試驗濟　大阪市衛生試驗所試驗濟　農商務省工業試驗所試驗濟
無害　志らが　赤毛染

安全コクオーは……從來のしらが染の如くまけたり、かぶれたりする氣遣は少しもありません
ホントニ安心して染られます

安全コクオーで……染た毛は永く褪けません　故に二回目からは生際だけを染ればよろしい
ホントニ徳用な白髮染です

徳用　志らが　赤毛染
專賣　大阪堂島　高橋盛大堂藥局　同　心齋橋　高橋盛大堂分店

仁川期米　▲二十一日前場
大阪　……平均値段九十錢……九十一錢……九十二錢……九十二……

花王石鹸の盛況

堅實なる國産發展

石鹸の消費額が文明の度に比例することは既に泰西の學者に依つて唱導された所ですが、我が國に於ても石鹸が贅澤品の域を脱して日常衛生の必需品と目せらるゝに至つてから、石鹸は舶載よりも實質を重んぜらるゝ樣になり、高價なる舶來石鹸は廢れ、我が國産たる品質本位の花王石鹸は時代の要求として日に月に驚く可き産額の增大を見るのであります。

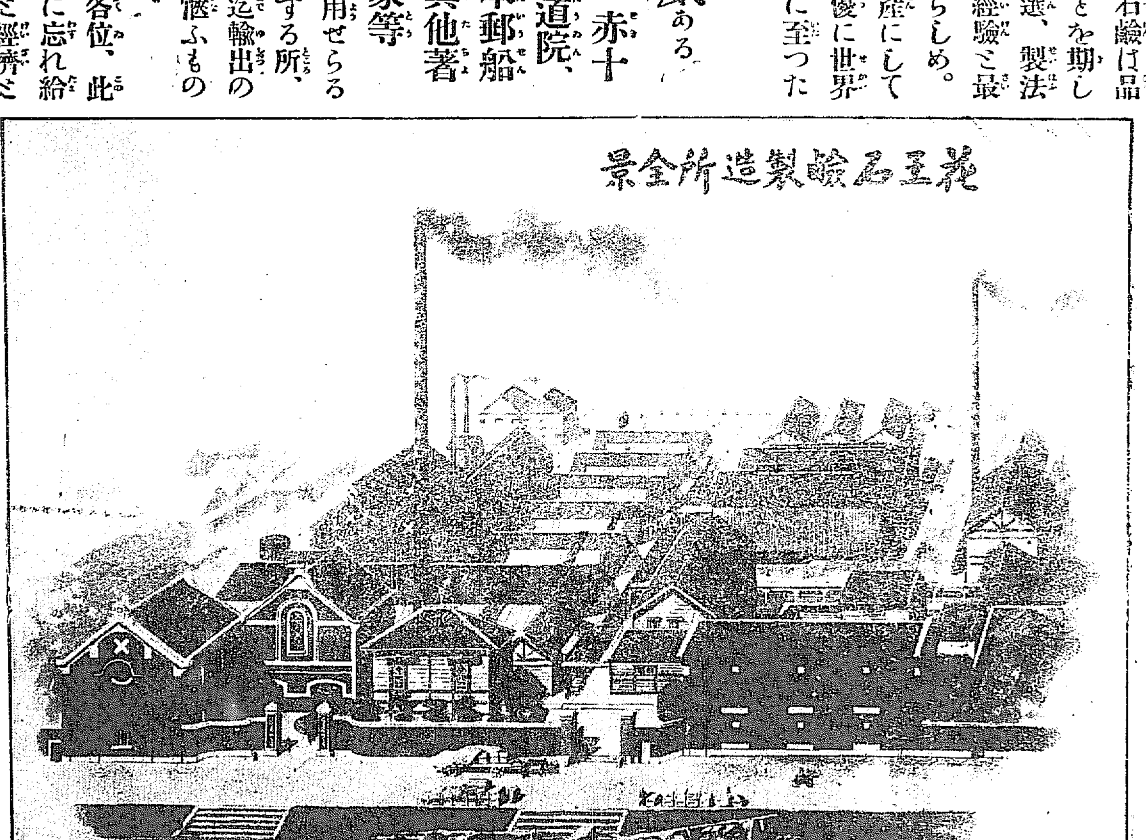
尤も品質本位を標榜する花王石鹸は品質を純良無上のものたらしめんことを期して夙に工場を完備し、原料の精選、製法の研究に最善を盡し、廿餘年の經驗と最新の學理とを應用して遺憾なからしめ、且又一般生産費の廉なる我が國産にして極度の廉價を確守するとに於て優に世界的廉價の良品として歡迎さるゝに至つたのであります。

現に斯道に於て權威ある

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院、朝鮮總督府病院、日本郵船會社、傳染病研究所、其他著名病院及び諸博士大家等の嚴密なる實驗に依つて多年採用せらるる事實は花王石鹸獨特の光榮とする所、更に又近來露國及び南洋方面に迄輸出の盛況を見るは、國威宣揚の實に愜ふものと私に快しとする所であります。

庶幾くは賢慮なる同胞需用者各位、此の世界的廉價の良品を朝な夕なに忘れ給ふな、啻に一身一家の化粧衛生と經濟との利益のみを申さず、畏き國産奬勵の御趣意に、感奮して切言措く能はざる所であります。

花王石鹸製造所全景



花王石鹸本舗　東京馬喰町　長瀨商會
關西代理店　大阪安土町　大崎組商會

廿一日の十二月限

京城日報

年中無休刊

(第二千九百十九號)

小賣定價 一部金三錢 一ヶ月金六拾五錢 ……
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ……
發行兼編輯人 內田直…… 印刷人 ……
發行所 合資會社 京城日報社 電話 ……

朝鮮統治の成績

第六 周邊の波動

蘇峯生

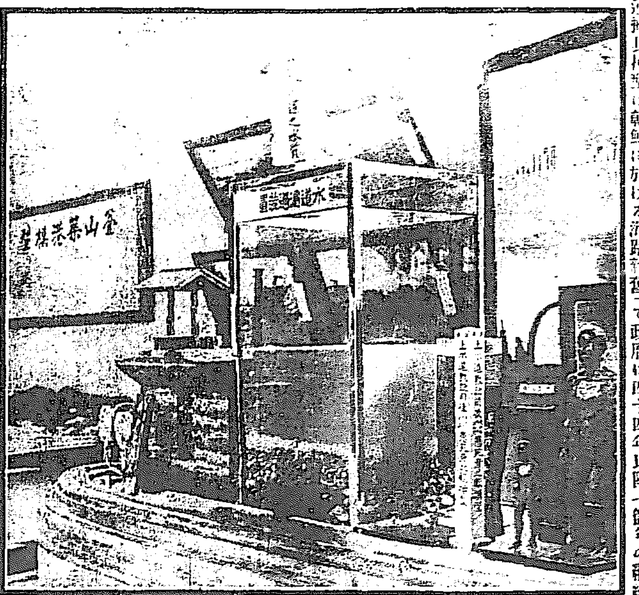
最近の五年は、朝鮮に取りては、極めて危險なる期間なりし也。由來朝鮮人は、可燃質也、浮動體也。明治四十四年には、支那に革命起り、其の餘波は延いて滿洲に及べり。此の革命が、如何なる程度の刺戟を、朝鮮人に與へたるかは、今茲に明言する限りにあらざれども。若し總督政治の根據薄弱なるに於ては、或は燎原の火、行潦の水たりしならむも未だ知る可らず。但だ支那が鼎の如く沸くも、朝鮮には何等の感應なき所以は、我には確乎不拔なる統御力ありて、能く此の油斷も、間隙もあらぬ人心を鎮壓したるによる。更に注意す可きは、日米の關係にあり。併合以前の朝鮮が、米國に倚る所あらんとしたるは、近世の東洋史に通曉する者の能く知る所也。而して日米の關係が圓滿を缺くに際して、朝鮮人が、此の成行を如何に觀測したるかは、爲政者の決して閑却す可らざる事件たりし也。然も我が帝國の對外政策は、假に掛引きに巧拙あるも、決して大體の方針を誤らず、而して極東の天地に於ては、日本を無視しては、何事をも出來ぬ事は、米人と雖も、能く之を承知し居れば、如何に朝鮮人が米人の力に賴まんとするも、所謂る空頼の類に過ぎず。吾人は我が總督政治が、巋然として渤東に於ける、人心歸向の中心點たりしを見て、轉た吾意を強からしめずんばあらず。若夫れ昨年爆發したる、世界的大戰爭の如きも、萬一我が總督府にして、微弱ならば、恐くは何事かの申分を生ず可かりし也。然も如何に獨逸と戰ふも、我が半島の人心は、之が爲に動搖するを容さゞる也。是れ朝鮮人の急に堅實に變じたるにあらず、如何に動搖せんとするも、今日の場合は、勢ひ不可なれば也、勢の不可なるは、蓋し總督政治の根柢の深且つ厚なる證據にあらずして何ぞ。凡そ弱國の民は、必らず事大的也、朝鮮然り、支那然り。吾人は今更ら思ひ出すさへも愉快とせざるも、彼の海牙密使事件を記憶する者は、如何に弱國の民が、第三者を便りて、其の目的を遂せんとする陰謀に習熟したるかを知る可し。支那が動もすれば日本を出し拔きて、米國と手を組まんと企て、而して米國の勢力が、所謂る二階からの目藥なるに當惑して。却て其の退路に窮し、翻て日本の離心を恢復するに汲々たりし事實を想起する者は。我が新附の人民たる朝鮮人が、日本の國際關係の事情を觀測して、此間に成すあらんとして、種々の思惑を試みる者あるも、決して異常の事と云ふ可らず。但だ我が伯爵寺內總督は、一身を以て、閫外の大任を繫ぎ。如何に隣邦に烽火が揚がるも、羽書の旁午するも、我が十三道の山河は、微塵だも動かず、又た動かさしめず。而して周邊に如何なる新事件の出來する乎を問はず。但だ我が爲す可く、且つ爲さゞる可らざる所を爲す。此の如くして、最近五年の朝鮮統治は、世界の狂瀾怒濤中に屹立して、比較的平靜を保持したりし也。而して我が朝鮮に於ける、一切の物質上の進步、發展は實に此の人心安堵、秩序確實の結果たらずんばあらず。吾人は此點に關して、特に我が各道に配布せる、約一萬三千の憲兵巡查等の効力の多大なるを感謝せざらんとするも能はず。朝鮮の秩序は、實に憲兵警察官の劍光帽影、馬蹄戞々の間に待つもの多大たりしや、爭ふ可らざる事實也。是れ必らずしも威壓にあらず、浮言相ひ搖かすの朝鮮人に對しては、秩序の實物標本を與へざる限りは、其の目的を達する難き也。我が現時の警察制度は、實に朝鮮人に向て、此の秩序の實物標本を與ふるものにあらずや。

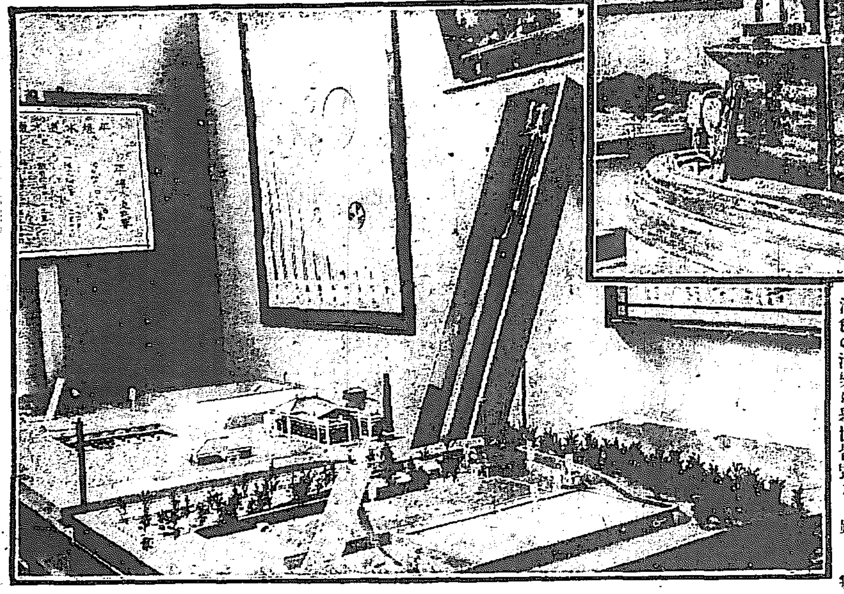
大共進會 出品概觀(廿)

第二號舘(土木交通)

教育部と對せる中央通路の左側及び其北手は第九部土木及び交通にして七十餘坪の地積を占め總督府土木局、遞信局、朝鮮郵船會社、鎭南浦汽船會社並に鴨綠江航路受命者武羽秀吉等の出品百數十點を陳列せり、先づ土木局主管の出品に付き概說せんに通路の角に据えたる二十餘種の新舊運搬具模型は朝鮮に於ける海路新舊用具を網羅したるものにして興味津々常に觀覽者の步を止め、右側の一劃に陳列せる實物及び模型中最も手近なるは水道給水用具にして各種の給水栓量水器等を陳列し其一部を截斷又は解剖して防寒裝置の構法、量水の作用等を說明せり、之れに隣れる京城水道水源地模型は纛島の西端に水源池を設け漢江の河水を引いて沈澄池二個、濾過池六個、淨水池一個、配水池一個に依り十二萬二千二百五十人に給水し得るの設備を示し精細なる說明を附しあり、之れと並べるは平壤水道水源池の模型にして其隣には京城水道の水質を說明せる模型あり即ち中央には纛島に於ける濾過池其儘の砂層を以て造れる模型を置き、左右には細菌培養器を以て漢江の原水より沈澱池及び濾過池を通過する每に其細菌數の減少する割合を現はし濾過池の構造並に其作用を示せり

場の中央にあつて精功人目を惹かせるは仁川築港の模型なり、同港は目下工事中なるが東洋に於ては未だ其例を見ざる復門式船渠にして模型に於ては潮水の干滿、復式閘門の開閉、船舶の出入等總て實物を以て其作用を示せり、元來同港は潮位干滿の差最大三十三尺に及び大船は遠く三哩の沖に於て荷役を爲すの狀態なるを以て政府は四十四年以降七箇年の繼續事業として工費三百四十八萬三千三百九十四圓を以て閘門式築港を計畫し工程目下六割六分に達せり、仁川築港の模型と共に注目す可きは釜山築港の模型なり、同港は明治三十九年以降五箇年繼續事業として總工費百五十一萬餘圓を以て應急的施設を爲し、稅關敷地其他に充當する爲め海面一萬餘坪を埋築して長百六十間餘の大突堤となし、之れに沿ひて鐵道の片棧橋を架設し四千噸級の汽船約三隻を繫留することを得せしめ且つ突堤內に引き込みたる鐵道線路に依り直に貨客の海陸連絡を完うせしめたり現に滿鮮急行列車の發着に供する第一棧橋之れなり。中央大通路の右側に据えたる道路模型は道路の維持修繕の良否が交通上如何なる影響を及ぼすやを示せるものにして一方には維持修繕の完全に行はれたる坦々砥の如き道路に人馬車輛の絡繹として通行するの狀況を現はし、他の一方には維持修繕を施さざる爲め道路荒廢して泥濘膝を沒し車馬の通行困難を極むるの狀況を示し、道の觀念薄き朝鮮人をして具體的に其必要を知らしめむとするものにして斯術の造詣と興味ある者は多數の觀覽者を蝟集せしめつゝあり





(上)京城水道濾過裝置 (下)平壤水道水源池模型 ——共進會第二號舘——

閑餘隨錄

大谷光瑞

四、樂(承前)

酒色の淫樂は擧世皆毀ると雖も李元忠の如く、侠射と酒を衒せしめば、李白の客は元忠の如くなるや否や必すべからず其の樂たるや畢竟消極にして苦を忘れんとするに過ぎず、此等の二種の酒により、樂を求むるの類は、皆憫むべき徒にして、我之に與せざるなり、世の狩獵を樂しむものあり、山野を跋涉し、鳥獸を射殺し、江海に棹して魚鱗を釣る、甲の如きは蒙古種族の如き、今日猶最大の快樂となせり、乙の如きは支那上世より之を以て賢者の樂となせり、何ぞ其誤るの甚しき、夫れ鳥獸時を以て獵せざれば人に害あり、害を除かん爲之を獵するか、若くば人を益せしめん爲め學術研究に資するは最も可なり、然れども是れ娛樂に供するに非ず、全く門戶を別にし、他の生命を斷ちて已の快樂となす、不仁の甚し、況や濫獵の極、鳥獸跡を絕つ如きは、既に世を禍ひするに至る、獸の林野に住むや、自から用あり、有害動物を食ひ、穢積を掃す、其の功大なり、是を殲滅し其の害人に及ぶ、故に國法此を禁じ鳥類を保護せり、蓋し狩獵を快とする如きは、上古野蠻の遺習猶存するに由る、我之を欲せざるなり、大輸贏を爭うて樂むに至つては、事最も卑し、國家は多く之を禁止せり、或は球戲をなすあり、球戲の法、室中あり、庭上あり、原野あり、棍を以て之を衒くあり、網を以て之を打つあり、棍を以つて之を擊つあり、或は徒步或は騎馬皆宜きに從ふと雖も、畢竟土城竹馬童兒の樂みのみ、我之を欲せざるなり、若夫れ萬里を隔て海山を越え來つて、輸贏を爭ふに至ては、其の愚及ぶべからず、況んや志學の徒、讀誦を捨て之を行ひ、貴重の光陰を消して輸贏を異境に爭ふ如きは、狂愚の極言辭の及ぶ所に非ず、土城竹馬は酒色の如く害を及すものに非ず寧ろ身體を怡適ならしむるを本となさば、小樂たるを失はず、輸贏を爭ふに至ては國法の禁ずる所と間一髮のみ、物を賭すと賭せざるの別にして、賞品を受くるに至ては殆ど差なし、志學の徒の行ふべき事に非ず(此項未完)

日報歌壇

鈴木古都子

風そよぐ木かげに我と秋草とかくるゝ樣に君待ちて居ぬ
何時よりか人の言葉をふとしてはうたがふ程の女となりぬ
かつ消ゆる薄雲の雲にはてしなき悲しき事の思はるゝかな
蟲鳴ひたなくまゝの淋しさにたゞおとなしう君と有る夜
裏畑の桑の實の紫がほろりくとこぼるゝ夕べ
青き蟲なき啼くまゝに草の實の飛ぶ野のはてに今日も來て立つ

完全無比の國民道德經

(忽再版)

修養の礎

●日本の修養書は本書に大成す!

大町桂月先生著

▲菊判特製箱入美装紙數九百頁全一冊 ▲定價金貳圓貳拾錢 ▲郵送料內地金拾錢

條目九編

第一 總論修養に就いて
第二 精神に就いて
第三 個人の德に就いて
第四 家庭に就いて
第五 學業に就いて
第六 活動に就いて
第七 交際に就いて
第八 臣民に就いて
第九 國家に就いて

歐米諸國の家庭には聖典なきは無し、聖典は歐米の文明富强の基礎なり我國には神道あり、儒敎あり、佛敎あり、武士道ありて道德の基礎を爲し居れど、人々戶々必ず備へ置くこ云ふ經典的修養書なし。大町桂月先生修養を說くこと十數年、茲に見る所ありて本書を著はさる、日本國民として心得ざるべからざる總ての修養の條目を網羅して之れを擧げ、殊に名文、名詩名歌、軍歌、琵琶歌までも引用し、修養と文學と相俟つて趣味津々人をして感奮措く能はざらしむ、名說實例は漢洋に亙るも我國を主とし古來崇敬せらるゝ聖賢や國民道德の基礎となれる訓言は一も之を漏さず以て國民道德の由る所を明にせり

●東西の實例人を導き古今の名編人を動かす!

日本文明富强の基礎實に此一書に在り、個人の發展家庭の繁榮國運隆昌の源泉とも云ふべく人々戶々必ず一書を備へざる可らざる修養の寶典完備せる國民道德經也。

東京本石町 至誠堂 振替東京一四七

於大共進會

今回記念物產大共進會に於て弊所出品の

スターサイダー 精白米 は褒賞授與式に於て各名譽ある銀牌受領の

光榮に浴し候は江湖諸彥の御同情の賜こ深く奉感佩候今後一層奮勵品質の精選こ卓越なる技巧を以て御高志に酬ひん事を期し申候

京城大和町一丁目 電話一四二〇番 京城清凉社

京城古市町 電話二一八番 德井精米所

▲廣告▼

新刊書御案內

書名	著者	定價
●朝鮮金剛山寫眞帖	德田寫眞館	三、五〇
●御大禮畫報	朝日新聞社	一、六〇
●東部蒙古	東亞同文會	二、五〇
●列強の外交政策	[illegible]	一、五〇
●玄洋社物語續篇	平井晩村	一、九〇
●維新志士簡牘叫跟錄	同	七〇
●人物と事業	[illegible]	[illegible]
●人生日訓	[illegible]	[illegible]
●增訂新佛和辭典	[illegible]	[illegible]
●實用漢文新辭典	[illegible]	[illegible]
●うねうね用品	[illegible]	[illegible]
●花より實をこれ	[illegible]	[illegible]
●女子は如何き用文	[illegible]	[illegible]
●作法文範	[illegible]	[illegible]
●住宅と家相	[illegible]	[illegible]
●株式實買投資新論	[illegible]	[illegible]
●最新養鷄法	[illegible]	[illegible]
●アマチュア探偵記	[illegible]	[illegible]
●漢文の話	[illegible]	[illegible]
●冒險小說	[illegible]	[illegible]
●朝鮮より	[illegible]	[illegible]
●朝鮮風俗集	[illegible]	[illegible]
●精士朝鮮工業概要	[illegible]	[illegible]

京城本町 電話二〇八番 大阪屋號書店 振替京城一五七

頭山滿と玄洋社物語

平井晩村著

定價各金九拾錢 郵稅各八錢

續編出づ 前編大好評第五版發賣

本書は一代の怪傑頭山滿翁を中心こせる遊俠志士の快擧を叙せる者。條約改正案の起伏に筆を染めて國權伸長の裏面を描き支那革命の大舞臺に活躍せる志士の言動を錄す、殊に霞ケ關に大隈伯を襲て隻脚を碎きし刺客來島恒喜が胸底傳へたる如き悲風山河に哭する政戰の跡、誰か髑髏の夢を吊ふて一掬の淚なけん、義に安んじて榮達を希はざる國士の心事は高嶺の雪よりも白く潔し、著者が全力を注いで編める此一卷は前編こ相俟つて明治秘史の白眉也

發行 東京馬喰町 振替四四八一 武俠世界社 興文社

山まゆ織

隈伯の隻脚を爆碎せし志士の最期

美織堅牢價格低廉經濟的實用品也御注文は小包郵便代金引換を請す見本進呈

(廣島市革屋町電話六八三番) 山脇胡三郎 振替貯金口座大阪一三〇〇番

列強大戰

▲サロニカ上陸軍 増大

英佛軍は陸々サロニカに上陸し居れり全線鐵道にて輸送するを得ざるを以て一部は全國に向ひ希臘國内を強行前進中也（紐育電）

▲露軍優勢

▲ストリー方面の露軍は兩翼より奇襲を行ひチャータリスを占領し獨逸皇太子の率ゆる近衛歩兵第一師團の七百名を捕虜とし其殘部を銃劍にて刺殺し大砲七門を鹵獲せり▲ノウオセルキの附近に於ける獨墺軍は驅逐せられたり▲リガ方面に於ては激烈なる戰鬪行はれ獨軍はミトウの南方に於ける村落を占領しミトウニユーガント鐵道の北方に於て若干の進出を爲せり▲ヤコブスタードの南方に於ける戰況は露軍に有利なる狀態に在り（露都電報）

▲ベ氏質問 日本の出兵に關し

ベレーア氏は下院に於て日本の今後戰鬪參加に關し日英兩國政府間に往復せられたる文書を議會に發表するや否や及び若し參加するとせば如何なる程度まで日本政府は共通の敵に對し出兵せんとするやを質問せり之に對しロバート、セシル外務次官は未だ發表の時機に達せずと答辯せり（倫敦電報）

▲希塞條約解釋

雅典來電に據れば聯合國は希臘政府の希塞條約解釋を承認せず希國は該條約に依り塞國を援助する義務ある旨駐希英露公使より希臘政府に通告せり（紐育電報）

◎眞影拜戴

文部省にては二十一日午前十時より直轄學校に對する御眞影拜戴式を行ひ頗る嚴肅の間に高田文相より各學校長及び代理者六十餘名に一々御眞影を拜戴せしめ終つて直轄學校以外の全國各學校八千餘校の分を各府縣代表者に拜戴せしめたり（東京特電）

◎米價調節大會

米價調節大會第一日は二十一日午前十時より農商務省にて開き河野農相の演説片山幹事の會務報告に次で議事規則の制定を終りたる後過般各委員に配付したる諮問案に付き上山次官の説明あり正午休憩（東京特電）

◎ウ少將の來邦 御大典參列の爲め

華盛頓來電に曰く米國亞細亞艦隊司令長官サラード號坐乘海軍少將ウキンター、ホルター氏は來るべき帝國の御大典に米國海軍を代表して參列すべき旨訓令に接したり（紐育電報）

◎首相と國民黨 首相邸の懇談會

大隈首相は二十一日永田町官邸に國民黨の重立ちたる人々を招待し懇談會を開きたり出席者は犬養、鈴木、小島、相島、池田の五氏にして主人側よりは武富、加藤、高田の各大臣高橋法制局長官列席し晝餐後別室に於て首相より歐洲大亂の影響及び對支外交其の後の經過、内閣改造の次第大正五年度豫算等に付き説明あり武富藏相は財政、加藤海相は國防と海軍擴張案に付き説明したるに對し二三質問應答あり三時散會（東京特電）

◎調査委員會

調査委員會は午後一時再開議事に入り質問應答ありて四時散會し五時より築地精養軒に於ける河野農相招待會に臨めり（東京特電）

朝鮮農政の今後を如何 敢て先覺の士に告ぐ

朝鮮農會副會頭 本田幸介氏談

十九日京城に於ける朝鮮農會總會席上本田博士の述べられし談話要旨左の如し

▲未だ創業のみ 此度の共進會に就て見るも、最近五年間朝鮮に於ける農事の改良進歩は歴然たるものであつて、現物、統計共に之を證して何人も異論はないであらう然るに勸農機關たる模範場及び朝鮮農會は倶に明治三十九年に創設せられ年を閲すること既に十年である、過去五年間の農業の發達は斯くの如く顯著であるが、十箇年の結果としては誠に物足らぬものがある、改良進歩と云ふも十年間にして二千六百の會員を有する農會の仕事としては如何にも不充分であるが故に、お互に今後一層朝鮮農事の改良發達に熱中致したいのである

▲整理を要す 農業の發達と云ふ事から見れば、今日は尚ほ創業の時代に屬する、之を發達せしむるには須らく積極的なるを要するが、之を十年の月日より見れば多少修正整理を施す事も亦必要である、故に此れから將來は今日までに較ぶれば一層困難である、朝の七里は晝の三里と申すやうに、今後の改良の三里は餘程勉強せねば朝の半分も出來ないであらう、今後積極的に進むことに一層の努力を願ひたいと同時に特に整理修正を必要とすべき次第を申上げねばならぬ、例へば苗代は短册形にするが宜いといふので各地方之れを實行して居るが、何故さう爲なければならぬかの本當の理由が充分に解つて居らぬ向も少くない、又米種改良の普及に付ては官民共に非常に熱心盡力の結果今や十餘萬町歩に普及して居る、然るに改良品種を普及する一方には赤米や稗が交り爲めに品質を落すやうな事も多い、折角早神力が出來ても是等の夾雜物のために開港場邊りでは贋神力なぞと呼ばれて居る、誠に嘆かはしい次第である、又養蠶の如きも改良種が非常に擴張され同慶に堪へぬ、乍併改良種で三眠蠶よりも劣つて居るものもある、又果樹園の開設の如き甚だ盛んなもので鐵道沿線に見ざるは無き有樣で慶賀に堪へぬ次第であるが、乍併創設後の來歴を調ぶれば果樹を栽るたのみで天然に任せて病蟲害其他に對する用意を怠つて居るものもある、それでは不可と思ふ

▲功を急ぐ勿れ 進むのは固より可いが只進む丈けでは其の結果を收めることは出來ぬ、啻に自己の勞費を捨てるのみならず、多數農家を害ふ事となる現にさういふ實例を多く見るのであるが、其原因は種々ある先づ（第一）に先覺者指導者が自己の功を貪り改良町歩の多きを誇らんが爲に數量を多くする事にのみ努める事である功名心の爲め徒に急ぐものが多く不心得な話である、例へば高利貸の金を借りて身邊を飾る如うなものである、一時は人の注意を惹くかも知れぬが累は終世に及ぶ。自分一人の缺點になる丈けなら宜いが數多い農家に累を掛ける事になる、此點は官民內鮮人の先覺者が大に注意を要する事である（第二）には無教育無經驗の爲めに人に累を掛け之れが爲め悲酸な結果を見る事がある、太平洋を泳いで亞米利加に行かうといふ者はまさか有るまいが、隨分無識無經驗の爲めに大失敗をする者は多い、朝鮮の農會でも之れに近い事實は有ると思ふ、御互に充分注意したいものである（第三）には、昔からの惡い習慣があつて官尊民卑と謂ふか上尊下卑と謂ふか兎角上から云ふ事は假令それが惡くても唯々諾々之れに從はねば累を來すといふ樣な事が朝鮮では永い習慣となつて居る、それで上から來た事はその時行る丈けで後の手入れなどは仕ない、憐れむべき話である

▲貫徹を努めよ お互に農界の先覺者を以て任ずる者は苟くも一事一物を起す度に其の趣旨を能く了解するやうにして之れを始めねばならぬ、改良發達の方針は之を貫徹させるに非ざれば先覺者たる責任を盡したとは言ひ得ぬのである、今一つ附加へて言ひたいのは朝鮮の農家は多年秕政の爲めに今日ありて明日あるを知らぬ生活をなして居る、從て得たところの金は直ちに使つて仕舞ふ、殊に飲酒の度を過すものが非常に多く一年の勞力に成る收穫の代價を一遍に飲んで仕舞ふ者が所在に尠くない、又賭博の風が未だに行はれて居る、之等は是非共改めねばならぬ弊風である、又冠婚の費用の如きも分不相應の觀がある、儀禮は素より重んずべきであるが過度の贅澤は戒めねばならぬ、是等は先覺者の餘程考慮を費すべきものであつて朝鮮今後の農業發達の爲めにお互の責任は洵に重大なるものであることを自覺したいのである。

●貴族と森林

▲▲貴族會舘に於ける本多林學博士講演

朝鮮貴族會にては目下入京中なる本多林學博士を招聘して二十日午後四時半より貴族會舘に於て講演會を開會したり來會者は李完用伯、朴齊純子、趙重應子、趙鎭泰氏、尹德榮子、趙東潤男、韓日洙男、權重顯男、齋藤營林廠長、上林山林課長、本岡書記官、具鬆務官等五十餘名にして本多博士は「貴族と森林」と題し約一時間に亘り大要左の如き有益なる講演を爲したり

▲公債證書の利子 貴族は國家の名譽を代表す可きものであるからして國家と共に永存し又其名譽を保有すべきものなり從つて國家の名譽を代表す可き貴族の體面を維持せんには之れに必要なる相當の財産を有すること勿論なり是に於てか貴族の世襲財産なるものゝ必要なる所以なり從來貴族生活の財源は公債證書に依つて保たれたるものなれども元來公債證書の利子なるものは一定不變のものにあらずして時勢の進歩と共に利子の引下を行ふを常とし現に今回の如く歐洲の戰亂に際しては非常の下落を來したる實例あり之に反して時勢の進歩と共に貴族の生活程度は益々向上し公債に由る收入と反比例の結果を生ずるに至るべし

▲永久の世襲財産 故に貴族の生活をして安全に且つ永久的ならしめんには必ず永久不變と云はんよりも世の進歩と並行して收入の增加する世襲財産を選ばざるべからず之れには鑛山の如きものは一時に巨大の資金を要して其の結果頗ぶる危險性を帶び工業又は水産業の如きは競爭者多くして商業も亦同樣而かも體裁上面白からず剩す處は農業と林業となるが就中林業に於て尤も貴族の世襲財産を增大確實ならしむるに於て有利なり故に予は貴族諸公に對して森林經營を勸誘するものにして殊に朝鮮の如き此森林經營に適切なる地に於て一層此感を深うするものありとす

▲扶殖園の設置 森林は農業の如く水害盜難旱害等の憂なく又殊更人工的に播種の必要もなく年々歲々自然的に收入を增加するに至るべきものにして而かも一人にして農業の數十倍又は數百倍の經營を爲すこと容易なり歐洲に於ける貴族等が近來小作農業の困難なるに鑑み農を變へて森林事業に移らんとするは爭ふ可からざる事實なり如斯時期に於て朝鮮貴族が聯合して扶殖園を設置し希望を遠大なる將來に囑して活躍しつゝあるは最も快心の至りなり

●赤十字へ賜餐 賜饗と鳳輦拜觀

十一月京都に於て行はせらるゝ御大禮に際し文武高官有爵者、優遇者に大饗に召させられざるものには各其所在地に於て饗饌を賜はる筈なるが右優遇者中には特に日本赤十字社偏有功章者をも差し加へらるゝ由、尚ほ京都御著輦當日十一月七日及び還幸時十一月廿七日の二回、本社特別社員以上、愛國婦人會偏有功章者及び職員に限り特に京都御苑内一定の場所に於て特別鹵簿拜觀の儀差許さるゝ事に相成りたるを以て拜觀希望の向は鳳輦御著當日又は還幸當日を明記し至急朝鮮本部、支部委員部等所屬部へ申出で其指揮を受く可しと

●李王家御買上 百餘種千五百圓

始政五年記念朝鮮物産共進會に對し李王家にては左の通り御買上品あり

▲第一部農業 精米、玄米、大麥、小麥、大豆、粟、實棉、白蔘、山蔘、大麻、家蠶繭等三十六種、價格二百十五圓
▲第三部林業 クヤキ木板、松花、カラマツ磨丸太、座敷建築の四種、價格六百二十六圓
▲第五部水産 乾牡蠣、抄布糊、乾石首魚、葛製網糸、乾明太等十五種價格十圓
▲第六部工業 苧布、交織物、安東麻布等三十種價格百九十七圓
▲第八部教育 手藝品、竹細工具、靴下、杜掛の四種、價格百三十六圓
▲第十三部美術 洋畫二點、日本畫七點價格三百八圓

◎朝鮮貿易（三）

關稅課長 宮木又七

是等國境地方に於ける輸出入貨物は漸次增進の趨勢を示し、大正三年に於ける貿易額は輸出六十四萬七千餘圓、輸入四十七萬一千餘圓、合計百十一萬八千餘圓に達せり、而して輸出入貨物の主なるものは輸出に於ては生牛の三十四萬九千餘圓を第一とし、大豆三萬三千餘圓、米の二萬七千餘圓、魚類の二萬一千餘圓、石油の四萬二千餘圓、煙草の三萬餘圓にして生牛は大部分露領に仕向けられ時局の影響として其輸移出を盛ならしめたり、輸入に在りては粟の九萬四千餘圓、其他穀類の三萬餘圓、支那燒酎の二萬九千餘圓、人蔘の三萬七千餘圓、木材の十二萬九千餘圓等にして粟は最も主要品なるも間島方面不作の爲め輸入不振を告げ前年に比し著しき減少を示せり。

▲豆滿江の貿易 更に豆滿江及び鴨綠江に區別し之れを見るに豆滿江流域に於ては輸出五十三萬六千餘圓、輸入二十五萬二千餘圓、合計七十八萬八千餘圓にして鴨綠江流域に在りては輸出十一萬一千餘圓、輸入二十一萬八千餘圓、合計三十二萬九千餘圓なり、如上輸入に在りても輸出に在りても兩者とも伯仲の間に在るも輸出に在りては前記生牛の輸出旺盛なりしと一方豆滿江對岸に於て龍井村並に琿春の如き比較的大市場を有する關係上内外產雜貨類の分布を容易ならしむるの事情あり、爲めに豆滿江方面は鴨綠江に比し約五倍の多額を示せり、次に朝鮮通貨貿易は現今の狀況に於ては釜山、新義州よりの鐵道に依り朝鮮を通過して内地と滿洲間に相互出入するものと清津、會寧間輕便鐵道に依り内地と間島、琿春地方に相互出入するものとす、而して其通過貿易の趨勢は左の如し

内地滿洲間出入貨物朝鮮通過額

區別		大正三年	大正二年
内地より滿洲向	綿布類	[illegible]	[illegible]
	綿糸	[illegible]	[illegible]
	其他	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]
滿洲より内地向	豆類	[illegible]	[illegible]
	柞蠶糸	[illegible]	[illegible]
	其他	[illegible]	[illegible]
	計	[illegible]	[illegible]
合計		[illegible]	[illegible]

内地と間島琿春間出入貨物朝鮮通過額

區別	大正三年	大正二年
内地より間島及び琿春向	[illegible]	[illegible]
間島及び琿春より内地向	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

二、輸移出品經路 輸移入品に就き海外より朝鮮の各開港に至るの經路を述ぶれば之れを内地より移入するもの、支那より輸入するもの、外國より輸入するものゝ三種に分つことを得、内地より移入するものは海路運送するものと鐵道聯帶に依り移入するものとの二種あり、朝鮮鐵道の敷設普ねきと共に後に述ぶ可き取引上の便利と貨物の速達を得可きことゝ及び運賃の割引等に依り鐵道聯帶に依るもの年々增加し昨年は内地品の移入三千九百萬圓中千四百六十五萬圓、即ち三割八分は鐵道便に由るに至れり、尤も之れは京城、平壤、大邱、釜山、仁川等を主とし群山、木浦、元山等の諸港は地理上海路を便とす、又鐵道聯帶に依る主要貨物は綿布、綿糸、砂糖、麥粉、叺、酒等とす、從て内地品の海路移入するものは昨年二千四百三十九萬餘圓にして移入の六割二分に相當す

◎全鮮醫生大會

李完用伯を總裁とせる全鮮醫生大會は二十三日昌德宮秘苑内に於て開催、午後二時よりは内地人をも招待す可しと

◎支那來賓濟生院寄附

第二十七師長張作霖、農商部次長、金邦平諸氏の支那派遣員一行滯京中濟生院を視察の結果同院基本金中へ金五百圓の寄附方を申出でたり

●内地郵便物遲着

暴風雨の爲め二十一日夕釜山に入港すべき連絡船遲著し二十二日朝配達の郵便物は延著となれり

●野田副總裁消息

二十日午前歸鄉の途に就きたる野田東拓副總裁は二十一日午後福岡に到著したる趣電報ありたり

◎法令輯覽發行期

改訂中なる法令輯覽は本月中に發行の運びに至る可く今回は一冊綴とし裝釘優美且つ極めて堅牢なりと

人事消息

▲傳銳氏（吉林省派遣員工學士）二十一日夜出發
▲岡村柯一氏（實業家）同上
▲山内工學博士 二十一日夜入京朝鮮ホテルへ投宿
▲グーン氏（英國商人）同上
▲塚越禮藏氏（遞信局釜山出張所長）同上浦尾旅舘へ
▲志賀良三郎氏（釜山郵便局長）同上
▲岩城竹治氏（木浦郵便局長）同上
▲八木辰馬氏（平壤郵便局長）同上山本旅舘
▲牧瀨五一氏（文部省參事官）二十二日朝出發
▲西和田久學氏（農商務省技師）二十一日出發歸任
▲深柳少佐（飛行協會主事）滯京中の所二十二日午前八時半南大門驛發の列車にて歸東

商況

大阪株式特電 [illegible]

下關期米 [illegible]

▲後場の寄付 [illegible]

▲取組高增大 [illegible]

京日案内

◎普通 一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

◎寫眞技師一名入用 希望者本人來談 齡廿五歲以上四十歲迄確實の者 ●仁川 井上寫眞舘 770

◎入用 針仕事達者の者一名廿歲より四十歲迄の女至急に雇入度し 希望者來談 ●京城新町 君乃江 785

◎見習生入用 十三歲以上十六歲以下希望者は黃金町時計御商多金光堂へ（電話一〇一五番）786

◎洋服外交に經驗ある者二三名至急入用但し市内に確實なる保證人二名を要す 長谷川町 高橋洋服店 784

●女中口入 官舍、商家、旅舘 京城明治町 萬年社 電話一八四四 620

◎古本 雜誌（新刊）買入（電話 反古（帳面）五七〇番） 振替 京城本町 ウツホヤ書籍店 747

◎貸家 日本建温突付三室至極閑靜 官吏向 漢陽公園南裏 管理者 龍山印刷局先畑中 677

◎賣地 南大門通舊宅地廢地卅餘坪 御望の方は（電話 壹五番） 黃金町 喜多金光堂 760

◎番外 一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

鍼灸 産後乳もみ マッサージ 京城明治町二丁目石田肉店横入 村上 電話三八四番 781

新炭 石炭 煉炭 たどん 卸し 小賣 諸官衙御用達 京城本町四丁目 稻垣商店 電話二〇九三番 782 大勉強

質店 弊店は完全なる倉庫を有し懇切に御取扱申候ふとんあずかり○債券公債買受申候 本町四の一五 電話一〇二三 福田屋質店 783

生徒募集 夜間教授開始 自午後七時至午後十時 裁縫茶の湯生花撰擇隨意月謝一圓 若草町 大日本茶道學會朝鮮支部附屬女子手藝部 電話二二六三番 777

賣地及家屋 市内外に有十萬餘坪有望の箇所各筆に分讓す希望者御來談ありたし 電話九三五番 本町三丁目 森川商店 778

支那歐米雜貨品揃 京城南大門通二丁目廿二番地 德興泰洋品店 779

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 708

●はねつぎ うちみくじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 685

▲樂器買入 オルガン 中古バイオリン 右御不用の方は御持參あれ高價買升 京城本町四交番向小路 杉野樂器店 776

◎貸家 場所明治町一丁目本通り二階建商業向 瓦斯水道の設備あり御望の方は左記へ御來談を乞ふ 明治町空地角 曾田書林 771

◎時計修繕 特別二割引 右迅速入念調進可仕候 時計眼鏡 京城本町三丁目 商金化堂 767

家傳 りん病三日藥 婦人消渇にも特効 本町三丁目五十二番地 至る所に代理店あり 東京救濟院京城出張所 765

マッサージ 產婆 三浦小糸 京城本町二丁目電話一四四〇番 756

平壤燒栗 支那やき 櫻井町 大正舘前 京城唯一 山下製麵所 電話二三四八番 754

旅舘 一泊八十錢一圓一圓廿錢 御中食三十錢四十錢各別 共進會觀覽各位に多大の御便計り升 入口五六軒右側 伊藤旅舘 720

◎共進會

古着古道具類並に拂下品 右御一報次第確實に買受候 黃金町三丁目 電話二四四三 四宮商店 715

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 710

皮膚病花柳病專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇二番 566

恩給年金類立替 京城本町三丁目四十番地 電話二六一番 博多屋本店 711

◎荷造 小包 箱製造 京城本町二丁目京城競賣所向側 電話二八〇一 長谷川製箱所 732

◎土産品は 朝鮮豆 高麗豆 元祖 翡翠 に限る 明治町二丁目 電話二三六八番 櫻井商會取次 五五一番 735

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六 井出邸内 電話二三八〇番 西村商會 712

▲淨水 を滯る時はうじを生ず 今日快通丸を召しましたか 東京 京城旭町一 淺野樂天堂 628

購買入札 一、石炭及木炭 右購買ス入札希望ノモノハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ 大正四年十二月 警務總監部

購買 玄米精米 大麥燕麥 詳細ハ十二月廿一日附朝鮮官報ニアリ 大正四年十二月二十二日 龍山陸軍倉庫

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番 定價金一圓 郵税本社負擔

從來の胃病藥で効なき人は博士のマーゲンを服せられよ。左の容態にて本劑の外適藥なし

主效
▼胃弱 ▼胸やけ ▼胃痛 ▼食すぎ
▼胸むかつき ▼消化不良 ▼食進まず ▼飲すぎ等

十錢、三十錢、五十錢、一圓、一圓七十錢

本舖 大阪市土木町 田畑保榮房 振替口座大阪五〇七八（全國有名藥店にあり）

特約店 南大門通 新井藥房

寶買取組高 十月限 十一月限 十二月限 [illegible]

後場 寄付 廿日 一の十二月限 [illegible]

李王妃殿下共進會御觀覽（二十一日）

化けたりな天勝

見窄らしい下女姿と天右の豫備少尉と百合子孃の朝鮮婦人の三人が發見

滿都の人氣を集めた天勝一行の變裝競爭は午後正七時から家庭博覽會で行はれた、度々舞臺や寫眞で

△お馴染の天勝 並びに一行中の花形天右、一光、靜子、天花、百合子の事なれば如何に神變不思議の變裝を爲すとも何程の事やあると イヤ來たり來たり、七時半には既に場內は眞黑になつて

新聞寫眞を持つた人達が盛んに凄い眼付を光らして男と言はず女と言はず物色する『天勝さんでせう』『一光君でせう』『イエ違ひますよ』『違ふよ』なんかと盛んに彼方此方で愚問駄答が繰返されて賑かな事だ、中にも猛烈なのはオペラグラスを持つたり梯子段の入口に腰掛けたりして蟻一匹看逃がすまいと構え込んでる、さうした

△嶮はしい關所 は場內の殆んど各舘にある始末、その中に變裝術の自信を負かうと割り込んで來た天勝一行は宛然炎の林へ飛込んだ様だ、針の山に分け入つた様なものだ、七時廿分頃**陸軍少尉在鄕軍人に化けて纔か髭を作つた天右**が入場してサーベルを光らせながら見物して步いたが五號舘の手前の家庭博事務所前で仁川病院の高田愼次郎君が發見して忽ち捕虜にしてカチカチ山に曳張てくる、天右は『最う捕まつちまひましたよ僕は之でも正眞正銘の

△豫備陸軍少尉 なんですが聯隊の襟字が無かつたのと髭が拙かつたんでせうね、此の髭が』と短かい髭をいぢりながら『徽章も持つてますよ』と在鄕軍人やら勳六やらを見せる『宿から尾けられたんぢやないかしらん——』と笑ひながら腕に發見濟の札を附けて更に場內廻りと出かける**此の時は運動場の隅から隅まで全く人を以て埋り**錐も立たぬとはどうしても此場合の形容だと思はせるその數は懸引なしの正味五千、イヤ最う唯呆れるばかりの景氣だ、暫らくするとその群衆の一角からウツツと喊聲が起る續いて『百合子が捕まつた〳〵』と囃し立てると間もなく大きな大きな人波が揺れて

△朝鮮婦人に扮した百合子が可愛相に大男四五人に細い腕を握られてやつて來たが最初の發見者は子供を抱いた京城運泥洞の田村陽三君と定まる、百合子は母に見立た朝鮮の婆さんと外に二三人の朝鮮婦人と一緒に來たのだが**朝鮮語で話しかけられ返答が出來ないので假面を剝かれた**のだ 同人がカチカチ山に立つと『イヨウ妓生』『太平町の喝甫に似てるぞ』などと見物席が湧き立つ、その內某氏の夫人に随いて下女に扮し顏から手にかけて**薄墨を塗り含み綿で頰を膨らませ髮をさんばらにした天勝が子供を抱いて入場**したが下足場の先きで一人の男に『お前さん天勝さんでせう』と例のでせうの規則外れの質問を受けたが『知りません』と切り抜け五六步進むと五六人から一齊に『天勝です』と摑み掛られ

△前後左右から 曳張り廻されて人波の中をカチカチ山に連れて來られた、サア愈々本物の天勝が見付かつたといふと群集は又してもワアワアと**鯨波の聲を揚げて**『**天勝の顏を見せろ**』『ハヽアよく出來た、萬年町の叔母さん—』などと怒鳴り立てる、それから暫らくすると變裝中止の振鈴が鳴り田舍者生に化けた一光が『朝鮮人の子供から咎められたが正式ではないので刎ねつけました』といつて來り

△大柄の紫矢絣 を著流して令孃姿に化けた天花が『妾も二度程呼びかけられましたが皆、でせうばかりだもんですから——』と引上げて來、最後に奥様風に裝つた靜子が『妾とう〳〵一度も呼びかけられませんでしたの』と歸つて來た、之れで一同が變裝のまゝ揃つてカチカチ山に登り**天勝の手品の種明し**天右百合子の**小奇術があつて大喝采裡に**閉會したのは十時過ぎだつた、因みに發見されなかつた一光、靜子、天花三名の賞金は本人等の申出によつて全部を慈善事業に寄附する事となつた、又天勝發見者は被發見者の決定で京城青葉町一丁目百十一番地吉川協君と定まり外の五人に對しては當人から一圓宛分與する事となつて目出度く濟んだ

天勝の變裝振り

當り籤五十本を更に追加す

二十一日夜の家庭博は天勝の變裝競爭のため非常な雜沓混雜を來したため多數の中には籤を受けなかつた方もある事と思ひますが何しろ烈しい混雜で不可抗力といふより外はないのですから遺憾ながら當引渡れの分は無効としその代り日抽籤渡しの方は二十二日は更に當籤を五十本增す事に致しました

水族舘デー

二十三四日の兩日、寶探しと變裝競爭

仁川水族舘にては來る廿三四日の兩日盛んなる水族舘デーを催する、當日は二日共晝間の寶探しと夜間の變裝競爭を試むる爲、二つ共探しあてた人には山のやうな大景品が贈られる、先づ晝間の寶探しといふのは午前九時に開舘し午後五時に閉舘する間に於て水族舘構內の何處かに秘め置かれた寶を探し出すのであるがこれは懷中時計其他數百に餘る賞品券であるから隨分面白い御愛嬌であらう、次に兩日夜間の變裝美人探しは午後九時から同十一時までの間に行ふ大人氣ものなるが二十三日の**變裝美人**は榮亭の種八、朝岡の歌蝶、奴亭の眞奴、柳屋の小鴨四名、二十四日は鱗の玉蝶、新門のいそ、八坂の政彌、三福の福太郎の四名、猶ほ此の他に兩夜共四名宛の妓生美人が加はる筈、美人は龍里の珠玉、翡翠、金子蘭、香蘭、錦花、明玉、錦明玉、金玉香の八名である賞品は一等六圓、二等五圓、三等四圓、四等より八等までは三圓である

●四十貫の猪

白晝黃州で銃殺 日人咬傷を受く

二十日午後一時半頃黃州明治農會附近の黃州街道筋及び其の小松山は白雲の如き鮮人の群衆にて埋められ口々に罵り騷ぐ聲高かりしがこは近頃**近在の畑を荒す大猪を山中より追出した**るなりき 猪は棒切れ石塊等を携へし鮮人の中を突いて街道を横切り急速に田の畦を走り行くより鮮人は

▲雪崩を打つて 追ひ行きしが折柄稻刈りの鮮人が猪の前に飛び出し打たんとすれば猪は直ちに躍りかゝらんとするより仲々近寄れずアレヨ〳〵と云ふ間に京義線に近づき林檎畑に入りしが此の有様を見たる明治農會の中西氏外二名は二連**銃を肩にして猪の跡を韋駄天の如く追ひ行き**猪が鐵路の附近を縱横に馳驅しつゝある所を續けさまに筒音高く六發を發射し悉く命中せしも小牛大の猪なれば容易に倒れず尚ほ三發の銃彈を受け遂に

▲七轉八倒の苦み をなしつゝ鐵道線路の斜面に打倒れしかば鮮人雲集撲殺して農會前の陳某方に引揚げしが此の騷ぎの間に農會事務員の某は左腕に猪の咬傷を受けたり尚ほ猪は四十貫を越え恐ろしき獲物なり（黃州通信）

●偵察中に墜落

特別大演習北軍飛行機隊の活動

特別大演習北軍飛行機隊に屬する飛行機は二十日演習開始と共に風雨を冒して根據地を出發せるがモ式一號には武田中尉荒瀨少尉を同乘せしめ偵察飛行を行ひ三十メートルの高度に達し練兵場の東端に差しかゝりし刹那突如發動機に故障を生じ**機は急轉直下練兵場の畑地に墜落**し機は粉碎したるも同乘者は幸ひ無事なりき（東京特電）

●內地人の屍體發見

高陽郡延禧面奉元寺後なる鞍峴山上に死後約六十日を經過せる內地人男子の死體を發見せしが肉は腐蝕し白骨あらはになり居りて氏名年齡等判明せざるも傍に遺しあるもの著衣等より判斷するに多分二十四五歲位のものなるべく而して毒藥亞砒酸の入りある罎一個あるより見れば之を服用して毒藥自殺を遂げしものならんと

●惡戲して自殺

仁川署管內富川郡富內面馬場里二統七戶黃元逢妻李𥚃淳（三七）は十七日午後三時頃妹と共に畑より歸宅の途中好奇心に耀られ鐵道線路に石を載せ其の破碎横樣を見物せんとせし現場を折柄通行の線路工夫に發見せられ追蹤を受け飼ふ〳〵の體にて走せ歸りたる所右の事情を姑に叱責せられ且つ所罰を恐れて大に悲觀し同日午後五時頃家人の隙を窺ひ苛性曹達を服用して苦悶し居る所を發見し應急手當を加へしも遂に絕命したり仁川署より警官出張檢視の上死體は戶主黃芝秀へ引渡す

菊花大會

●場所 共進會場內慶會樓階下
●期日 十月二十二日より二十八日まで
●觀覽 無料何人も入場御隨意
●景品 審査員に於て審査の上一、二等は銀盃三等以下五等迄は相當の物品を呈す 品總數百八十六點
●出品 一人に付五鉢以上とし二十日以降迎秋門より持込まれたし

京城協贊會

●馬に蹴られて死す

高陽郡纛島面新川里金浩先（二五）は十八日午後四時半頃飼馬を使役して畑の耕耘に從事中馬暴れ出し同人の下腹部を蹴りたる爲め其場に倒れたり直ちに家人は應急手當を加へしも約三十分の後自宅に於て遂に絕命したり届出に依り高陽署より警官出張檢視の上死體は長男昌來へ引渡す

●廣江商會と天勝

廣江商會にては今回金牌受領自祝として有樂舘出演の天勝を應援することゝなり同商會京龍の各小賣店にて有樂舘入場券を發賣し右購入者には特に煙草『新羅』を特等には三個、一等には二個、二等に一個を贈る由

特別寫眞

活寫界の大呼ものたる名優尾上松之助出演の**松平騷動**は當座の切舞臺に提供す映畫の鮮明と背景の優雅は御觀覽の御評判に俟つ

至急供觀　**壽座**　電話五七八番

▲廿二日の演藝舘 廿二日の出演藝妓左の如し 夜間は花街樂花妓出演あり △千里の風 千代香、〇〇、玉子、秀子、丸子、小政、小芳、鳳香、光菊、花奴、よみ子 △つひのよるべ 〇〇、小芳、玉子、小政 △地ト一 貞丈、萬吉、鳳菊、政菊、歌之助、君蝶、玉久、たま、ちゑ、福丸子、秀丸、一子、はまぐりつぼみ

▲太陽團と新加入 龍山佐久良座に開演中の太陽團大福一派の教育劇は二十一日より五日間限りにて開演したるが同一行には[illegible]今回新加入の俳優もあり評判よし

▲御成座 二十二日の藝題は[illegible]

▲黃金舘寫眞の替 寫眞左の如し ◎白軍東海岸の慘狀 ◎[illegible] ◎活劇鐵假面 ◎新派悲劇花筏

謹告

昨夜は態々御來觀被下候處觀覽者數萬人一時に入場せし爲め混雜を來し景品抽籤場の如き到底完全に籤を御渡し致候に付或は籤渡れの方も可有之甚だ御氣の毒千萬御存じの通りの有樣にて手の施し樣も無之何卒不惡御了察の上候就ては右御詫の爲め本日は當り籤五十本を特に差加へ置候間御諒恕被下度候尚ほ昨夜は入場券の半折出口にて受取洩れ多數に上り候へども之は凡て無効に御座候間御念の爲申添候敬具

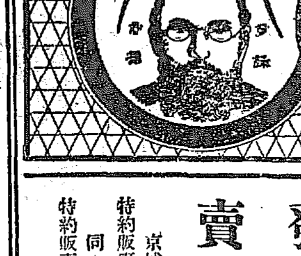
十月廿二日　家庭博覽會

最後の十日！

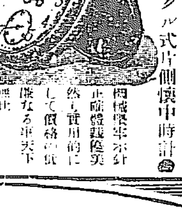
泣いても笑つてもモウ十日間で共進會も家庭博もお終ひになる

いよ〳〵剩す所僅か十日となつた一度や二度の素通り的見物では眞正の見物は出來ない、まだ見ぬ人は勿論**一度の人は二度、二度の人は三度**と是非行かねばならぬのは共進會と京城日報の家庭博覽會である、泣いても笑つてもモウ十日過ぎたら見る事は出來ない、**最後の十日間!!** 此間に見るのが一番爲めにもなり味もある、而も此十日間には共進會にも毎日絕えず催しがある、**家庭博覽會にも連日連夜の福引と取かへ引きかへ催し**がある、明日と云はず今日只今お出かけなさい、旨いものは宵に食べなくてはならぬ

家庭博の福引は愈よ當籤が多くなつた



進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す是が理想的なるは大學目藥也



新荷著アンクル式片側懷中時計 機械堅牢示針正確 鍍金保證實用的にして價格の低廉なる事天下無比

十九形 鐵側 一圓九十錢
十六形 同 二圓八十五錢
十一形 同腕時計鎖付 五圓二十錢
十三年形 同ニッケル側 二圓六十錢
十六形 同 二圓九十錢
十九形 同（機械表示） 三圓九十錢
十六形 同 八圓五十錢
十八形 銀鍍金（調刻蓋） 十二圓五十錢
十六形 金鍍金調刻兩蓋 四圓二十錢
十九形 銀側 八圓五十錢
十七形 同（銀七寶） 廿六圓八十錢
十一形 同（腕時計） 十三圓八十錢
十九形 金パリ（十年保險） 十八圓
十八形 同 二十圓
同 同 廿一圓五十錢
十六形 十八金 百五十五圓
同 同 百五十圓

新商品にて本商會獨り之を有し他の模倣を許さず[illegible]
時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッツシー商會 京城本町二丁目 電話九七二番

模範 牛乳 純粹培養 ヨーグルト 太正堀肥醫獸主場 京城遠東町四 東亞牧場（電話五二二番）

壹錢五厘が運の向き初め
開運
智力の及ばぬ事の届く妙術 世に心配苦勞の絕えぬ人は男女共に天眞學講義錄を讀み運を善くして世の勝利者たれ 先づ見本を請へ はがきで申込 無代で送る かな付子供も解る 會費一ケ月卅錢 六ケ月修了 東京芝宇田川町廿 日本天眞學會

冷卸發賣

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

かゝる人に偉効あり ■咳苦しく胸痛む人、■咳出で眠られぬ人、■たんに血の交る人、■寝汗出でざる人、■のんど腫れ痛む人、■たんせき切れ難き人
個 十五錢 二十五錢 四十五錢
本舗 大阪東京 丹平商會藥房 全國到る處に販賣す

タンセキ改良劑 呼吸器散 呼吸器丸
本劑は最新藥の特效劑を配伍せるを以て、如何に重き呼吸器病にても一週間程試よ！ タンを去りセキを鎮め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏す

優等清酒 一鶴 京城本町一丁目電話六五四番 本莊酒店

大阪期米特電（廿一日）
[illegible]

仁川米豆取引所
▲廿一日後場 大阪廿三回寄一錢[illegible]
▲後場新高値 [illegible]
▲本月の正米界 [illegible]

平均値段 一節 八圓八十錢 二節 八圓八十錢 三節 八圓七十錢 四節 八圓七十九錢

汽車

[illegible]

千生瓢 (17)

須藤南翠作　筒井年峰畫

雪消（四）

北庄と相並んで、越前の重鎮となつて居る府中城は、前田又左衛門尉利家の牙城である。利家は寒氣に冒されて、久しく病ひの床に臥して居たが、山々の雪消の春に遭ひながら、兎角に枕の擡らぬのを、焦燥しく思つて居た。

斯くして病を養うて居る間にも、常に思ひを惱ますのは、折々聞ゆる美濃路の音信であつた。清洲に居る北畠信雄、是は穏和な性質だけに、思ひを惱ます事はないが、岐阜城に居る神戸信孝は、開ゆる氣運の大將として、英氣を恃んで思慮を輕んずる傾きがあるので、利家はいつも念頭を去らぬのである。殊に一旦羽柴秀吉と兵を結んだ後は、和平がいつまで續くであらうか、其が全く疑問であるため、此方面の觀察は、少しも怠らぬやうに努めて居た。

病床に伺候した長九郎左衛門尉連龍、密と聲を低めて、

『殿、美濃の情報聞かせられましたか』

『三七殿御再擧、是非ない事ぢや』

『是非ないと申せば、何事も其までおざりまする。斯やうに屡々無謀の御企て在らせられては、筑前殿の思ふ壺に陥られて、遂には壺中の章魚同様、手も足も出ぬ羽目と相成り、自滅遊ばさるゝ外おさり申さぬ』

『それ御痛はしう存ずるぢや。されど九郎左、利家が分にて何とならう

『三城ながら遠捲に包圍されて、伊勢路の援軍も絶えたとあるわ』

『筑前殿伊勢亂入、瀧川殿武勇萬人に勝れますとも、後詰のない勢を以て大軍に當る。唯敵に反忠の者出づるを待つ外、必勝の謀あるべくも覺え申さぬ。約りは此も御自滅おざりませう』

『さらば、我等も自滅か』

利家は痩せた頬に皺を寄せて笑つた。其笑ひは苦笑とは見えなかつた。

『御家滅亡、その御覺悟おざりまするかッ』

九郎左衛門の眼は、怪しく輝いた。

『和平の守る我等にまで、詰腹切れと申す筑前でもあるまい。兎角は修理殿存慮次第ぢや』

深く侍む所のあるかして、利家は沈靜な物の言ひ様であつた。

『殿の和平、それ聞えておざる。柴田殿の胸中、和平の雪溶くる期を待たるゝでおざらう。先頃殿寶寺に参らせられ、羽柴柴田兩將の和平、事なう整へさせられたのも、岐阜殿の一擧に破れて、もはや和平は反古おざりまする。岐阜殿屡々の御催促にも耳を假さず、佐久間殿の性急をも知らず顔に、小谷の御方の妖顔に現を抜かし、三人の姫達の寵に目をなくして、弓矢の事は忘れたげに見ゆる修理殿、これ畢竟胸中の雪溶けぬ爲おざりまする。筑前殿馬を伊勢に出され、近江手薄の只今、旗の動くは、こゝ一兩日と存じ申す。殿、御賢慮何とおざりまするな』

九郎左衛門が聲は益々力が籠つて來た。言ふ語には熱が加はつた。吐く息は熱かつた。

『左近將監は侍從殿伯父とある、御加勢勿論ぢや。柴田殿は縁に繋がる叔父姪とある。これは三法師殿へも北畠殿へも同じ縁が繋がつてある。去りながら武將は意氣ぢや、義に依つて戰ふぢや、成敗利鈍は問ふ所でない。一片耿々の志、これに依て生き、これに依つて死す。毀譽何にある。褒貶何にある』

病み惱らた口より、虹のやうな氣を吐いた。九郎左衛門は呆氣に取られて、利家の顔を目成つてゐたが、やがて意を決して、

『さては岐阜殿御爲に、一族を亡すまでも、戰はう御賢慮な』

『爾うぢやよ』

『殿が？』

『修理殿がよ。はゝはゝ』

懲きの目を瞠つた九郎左衛門の顔に、冷かな笑ひを投げかけた。

『殿は？』

『我等は病人ぢや』

九郎左衛門は始めて落著いたやうに、懐を捜つて一書を取り出した。

大割引 **自動車**

新羅一千年間の舊都（朝鮮の奈良）慶州に遊べ京釜線大邱驛より快走夕ツタ二時間と半！更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

朝米

致富之寶無代進呈

前金註文は紹介を要せず

大阪堂島米穀取引所仲買人 ㊣橋本猶作

電話長東 [illegible]

振替口座大阪二四一七二

滿洲五龍背溫泉

■安奉沿線五龍背驛を距る二丁閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
■風光絶佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各様の設備あり

登録商標 **瓢水味淋** 堺灘嶋釀

專賣店 京城本町二丁目 **前田酒店**

りん病ばい毒專門藥房

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であることの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありません。只世界の有りと有らゆる淋病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日及七日の京城日報を御覧下さい。●りん病藥壹週間分普通壹圓武拾錢特製武圓 ●ばい毒藥一週間分普通壹圓特製參圓 ●照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り 鮮滿總發賣部 **ドラッグ藥房** 電話二五六七番 振替京城四六七番

本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會

名產 **平壤栗大販賣**

右御小賣共破天荒の勉强可仕候間陸續御下命の程希上候弊店へ御來談御照會被下候はゞ如何様にも御滿足を與へ精々御便宜御取扱可申上候敬白

萬穀物類 果物類問屋 平壤新倉里四十三番地 **朴承德** 電次一三番

名刺 **太平堂名刺舖** 京城壽座前 電三七二二 振替二三六七 地方は郵送料不要

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十月廿三日後四時出帆
若が代丸 十月廿七日後四時出帆
神代丸 十月三十日後四時出帆
大有丸 十一月二日後四時出帆
第二太湖丸 十一月　日後五時出帆
○群山、大阪行 土海丸 [illegible]
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 商杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

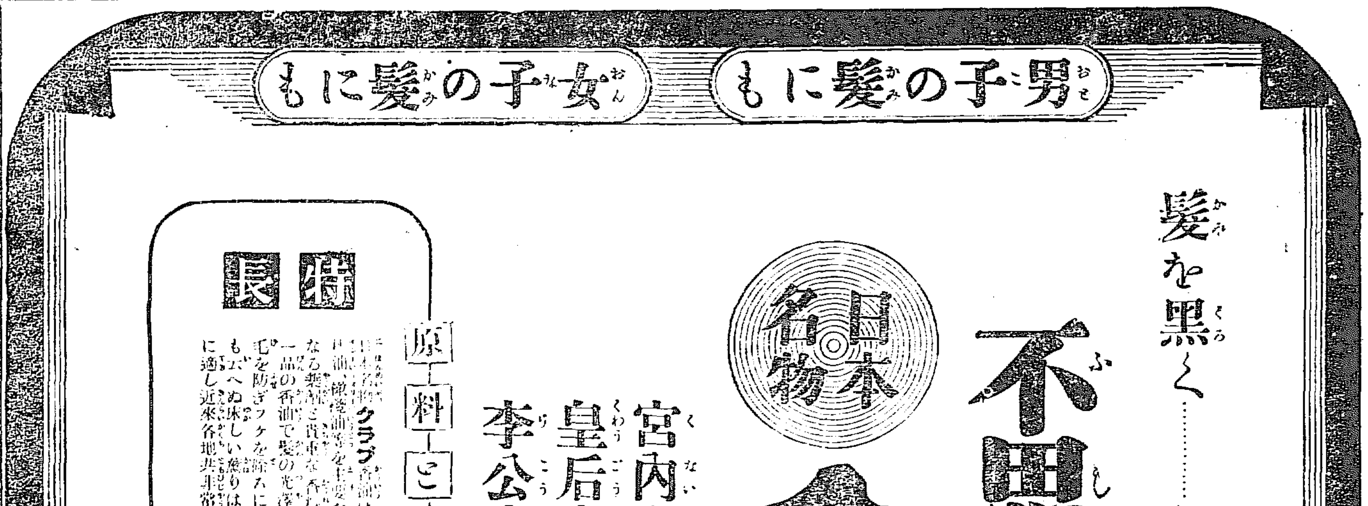
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十月　日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月廿八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月廿二日後九時出帆

共同汽船仁川出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大眞丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山埠頭 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 共同丸 十月廿四日前九時入港 十一月　日後二時出港
第一城鶴丸（元山出帆） 城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月　日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 十月廿三日 十月廿四日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店（電話二四七番） 田口回漕部
京城取次店 南大門通 電話（二六八、二〇七） 河村運送店



朝鮮郵船 出帆

本社 京城南大門通（電話長一九五二、一九五三、二三一三番） 京城荷客取次店 松原運送店（電話二一七〇）

全羅丸 十一月四日
京畿丸 十月廿五日 門司より釜山各港寄港
黄海丸 十月廿九日 釜山發
成鏡丸 十一月八日
昌平丸 十月廿四日 元山發
鎮城丸 十月廿六日 元山發
能登丸 十月廿四日 元山發
忠清丸 十一月一日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十月廿三日 釜山發
江陵丸 義陽丸 毎日 （釜山浦項）發
三浦丸 十月　日 釜山發
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶寶丸 毎 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 十月廿四日 木浦發
公州丸 十月廿三日 木浦發
宗信丸 十月廿九日 仁川發
江原丸 十月廿五日 仁川發
晋州丸 十月廿三日 仁川發
麗水丸 十月廿九日 仁川發
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 十一月十三日 群山發 若松發

日本郵船仁川出帆

○大連大沽牛莊行
高砂丸 十月　日 正午出帆
三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路（温泉航路を除く）の連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 温州丸 十月廿六日 漢城丸 十月廿二日 汕頭丸 十月三十日 午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行 ▲は嚴原迦の浦に寄港 安東丸 十月廿四日 ▲天智丸 十一月二日 午後二時出帆
○鎮南浦、大連行 安東丸 十一月五日 天智丸 十月廿八日 午後二時出帆
○鎮南浦關門神戸大阪行 月　日 正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月一日 チヨイサン丸 十一月　日 午後四時出帆
○大連直行 千珠丸 十月廿七日 チヨイサン丸 十一月八日 正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆） ▲は城津西湖津に寄港浦潮不寄港 地久丸 十一月八日 神宮丸 十月廿九日 ▲城津丸 十一月四日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十月廿九日 新高丸 十一月十六日 午後四時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一番 二一〇番 五五〇
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番